中心市街地活性化への歩み

平成23年度版











豊田まちづくり株式会社

豊田市若宮町1-57-1　〒471-0026
www.tm-toyota.co.jp

平成23年6月編集（vol.8）



豊田まちづくり株式会社

目　次

ごあいさつ …… 1
豊田まちづくり㈱の設立経緯・事業経過及びまちの変遷 …… 2
会社概要 …… 6
会社決算の推移 …… 8
豊田まちづくり㈱の取組み …… 10
豊田まちづくり㈱の事業
　再開発ビル事業
　　・豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業 …… 12
　　・豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業 …… 16
　管理事業
　　・施設維持管理運営事業、警備業 …… 18
　　・駐車場事業、損害保険代理店業 …… 19
　　・フリーパーキング事業 …… 20
　　・TM若宮パーキング、DSRC活用駐車場事業 …… 22
　　・飲むならパーキング、ショッピングカート共同利用事業 …… 23
　　・有料駐輪場事業、まちなかレンタサイクル事業 …… 24
　　・多目的広場（シティプラザ）整備事業、まちなかクリーンアップ事業 …… 25
　地域開発事業
　　・豊田市中心市街地商店街支援事業 …… 26
　　・チャレンジショップTM SEED …… 28
　　・まちなか宣伝会議 …… 30
　　・地域イベント事業 …… 32
　　・まちづくり活動支援事業 …… 34
　　・広域のまちづくり活動支援事業 …… 36
　　・豊田市中心市街地のまちづくり事業 …… 38
豊田市中心市街地活性化協議会
　　・豊田市中心市街地活性化基本計画 …… 40
　　・豊田市中心市街地活性化協議会の運営 …… 42
　　・中心市街地まちづくり活動センター（パブリカ） …… 44
　　・一店逸品運動 …… 45
　　・らくゼミ …… 46
　　・とよた元気プロジェクト …… 47
豊田市の取組み
　　・商業機能等配置実行計画（テナントミックス） …… 48
　　・豊田市商業振興条例 …… 50
　　・商業活性化推進交付金による事業の数々 …… 52
　　・ハイブリッド・シティとよた …… 54
資料
　　・豊田市データ …… 56
　　・交通アクセス …… 58
　　・豊田市の産業 …… 60
　　・豊田市の財政 …… 61
　　・周辺商業施設概要 …… 62
　　・豊田市中心市街地の通行量調査 …… 64
　　・豊田市中心市街地の来街者調査 …… 66
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議 …… 68
まちづくり推進団体 …… 69

ごあいさつ

この度の東日本大震災により、被災された皆様並びに関係者の皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。この上は、被災地の一日も早い復興を心よりお祈り致しております。

大自然の猛威によって失われた多くの尊い生命や都市、加えて原発事故の脅威や風評被害に曝された未曾有の被害は、まさに国難とも言うべきものでありましょう。電力・鉄道・道路・空港・河川・港湾・上下水道などあらゆるインフラ及び衣・食・住の全てに、その被害は及んでおります。

なかんずく、企業の生産能力は大幅に落ち込むと共に、消費者意識は不要不急の消費を抑える方向に動き始め、消費構造の変化・購買力の低下を招いて、景気の停滞に拍車をかける恐れが出て参りました。

さて、豊田まちづくり株式会社にあっては、基幹事業である豊田市駅西口市街地再開発ビルのキーテナントとして、松坂屋を迎えて再出発してから今秋で丸10年を経過するに到りました。平成22年度から進めている『第四期3ヵ年計画』は、リーマンショック以降の経済情勢に鑑み『原点回帰の期』と称して、如何なる経済変動にも耐え得るよう地道に愚直にと言う想いで臨んだ年度でありました。期央から期末へかけて、漸く改善の兆しを感じ始めた頃、この度の大震災を経験する事となりました。

その様な状況下、松坂屋出店の基本契約が、お蔭を持ちまして延長更新される事になりました。先行き不透明な経済情勢ではありますが、『中心市街地活性化協議会』の下に『TCCM』の事業推進体制の一翼を担って、所与の経営使命を果たして行きたいと存じます。

今後共宜しくご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成23年6月

豊田まちづくり株式会社
会　　長　板倉　　猛
代表取締役　鈴木　幸穂

豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過及びまちの変遷

破綻による混乱期

平成12年	**7月12日**	**(株)豊田そごう民事再生手続き開始の申立て**
	9月 1日	豊田市がA館9階に子育て支援センターを開業
	10月25日	**豊田そごう閉店発表**
	10月30日	中心市街地まちづくり会議、(協)豊田市商店街連盟が豊田市長へ要望書提出
	11月 2日	市議会思政クラブが豊田市長へ要望書提出
	11月27日	豊田商工会議所が「中心市街地の活性化・再生に関する提案・要望書」を豊田市長に提出(再生スキーム案の提出)
	12月13日	豊田市が中心市街地を考えるまちづくり意識調査実施(アンケート)
	12月25日	**豊田そごう閉店**
平成13年	3月 9日	そごう再生本部との交渉妥結
	3月16日	そごう債権銀行団との交渉妥結
	3月21日	**3月定例市議会で緊急活性化条例、貸付金の予算可決**
	4月12日	豊田市より、とよた商人(株)に48億円の貸付実行
	4月13日	とよた商人(株)が(株)豊田そごうの土地、建物、債権を取得
	4月16日	**(株)松坂屋との出店に関する基本合意書調印　(株)松坂屋が出店表明**
	4月18日	東京地方裁判所にて(株)豊田そごう破産決定

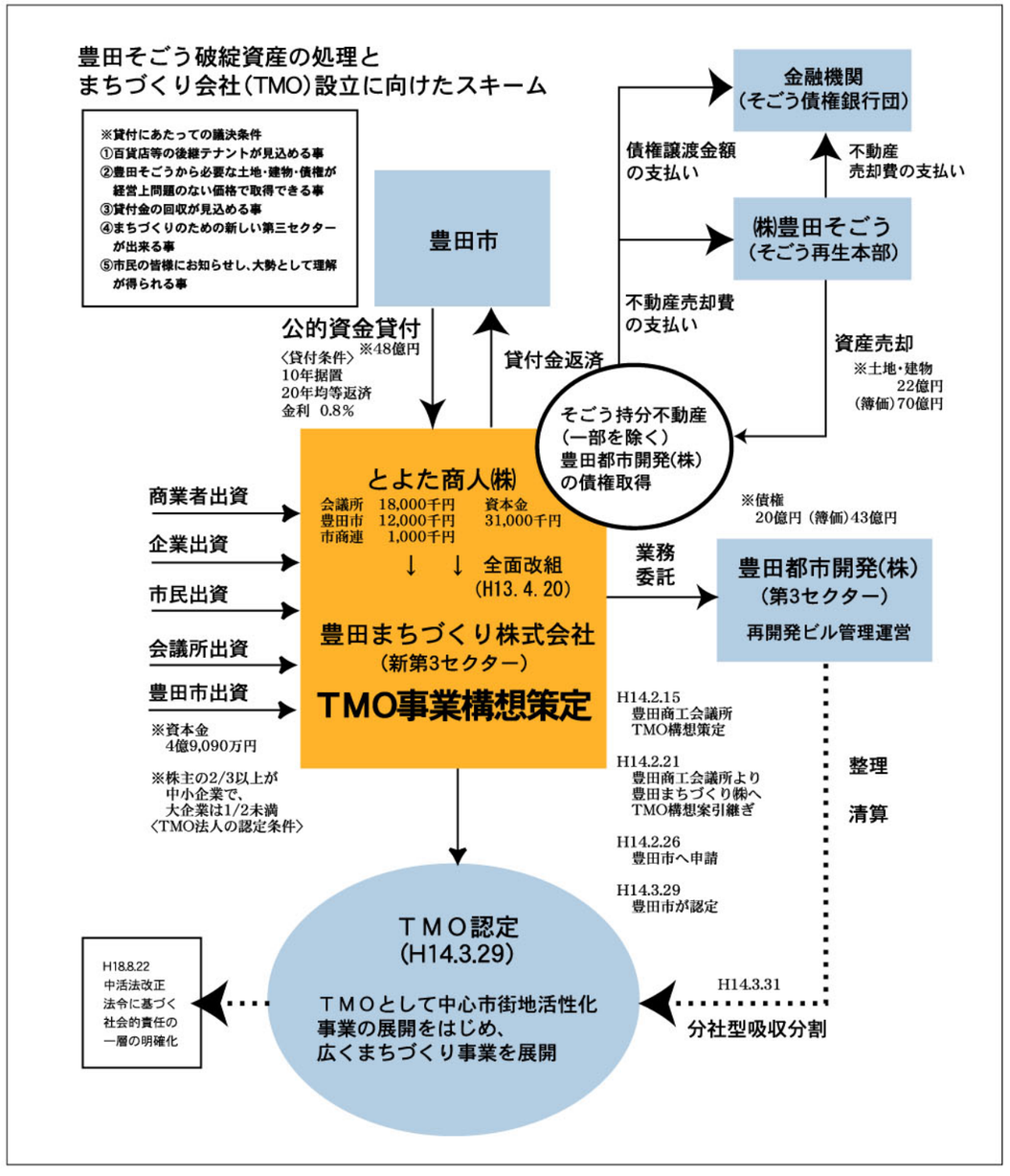
豊田まちづくり(株)の創立期

平成13年	**4月20日**	**臨時株主総会、とよた商人(株)を改組、豊田まちづくり(株)に商号変更、新役員選任**
	6月27日	平成12年度・第7期 定時株主総会
	9月29日	資本金確定(4億9,090万円)
	10月25日	**松坂屋豊田店開店、とよた市民活動センター開業**
平成14年	**1月28日**	**(株)マイカルが豊田サティを含む19店舗閉鎖を発表**
	2月26日	豊田まちづくり(株)、豊田都市開発(株)臨時株主総会にて分割契約書承認
	3月29日	**豊田市が豊田まちづくり(株)をTMO法人として認定**
	3月31日	豊田まちづくり(株)が分社型吸収分割により、豊田都市開発(株)を統合

TMO法人豊田まちづくり(株)の本格始動

■第一期3カ年計画(平成14年度～16年度)経営基盤整備の期

平成14年	**4月 1日**	**会社分割登記、TMO法人豊田まちづくり株式会社の発足**
	4月10日	豊田都市開発(株)が会社解散決議
	4月16日	臨時株主総会
	4月26日	**トヨタ生協が豊田サティ後継店としてギャザビルへの出店方針を発表**
	5月31日	豊田サティ閉店
	6月28日	平成13年度・第8期 定時株主総会
	7月15日	**メグリアセントレ(トヨタ生協)1階(食品)オープン**
	10月19日	**メグリアセントレ(トヨタ生協)2階(衣料・雑貨)オープン**
	11月 1日	まちなかクリーンアップ事業始動
	11月 2日	チャレンジショップ「TM SEED」開業
平成15年	**4月 1日**	**中心市街地フリーパーキング事業の開始**
	5月30日	豊田まちづくり(株)が大型空き店舗活用支援事業補助金を活用してギャザビル3階にテナント誘致、オープン
	6月30日	平成14年度・第9期 定時株主総会
	8月22日	まちなか宣伝会議立ち上げ
	9月 6日	ヤンチャタウン実行委員会が「まちなかレンタルサイクル」事業開始



平成16年	3月 5日	B館T-FACE3階リニューアルオープン
	3月20日	**TM若宮パーキング竣工**
	6月30日	平成15年度・第10期 定時株主総会
	8月30日	TM若宮パーキング1階　豊田市ITS情報センター「みちナビとよた」開業
	8月31日	多目的広場(シティプラザ)整備事業竣工
	11月 6日	チャレンジショップ「TM SEED」リニューアルオープン
平成17年	3月19日	東海環状自動車道鞍ヶ池公園ハイウェイオアシスにコンビニエンスストア開業
	3月31日	第一期3カ年計画(平成14年度～16年度 経営基盤整備の期)の終了 平成16年度決算で過去の累損を解消

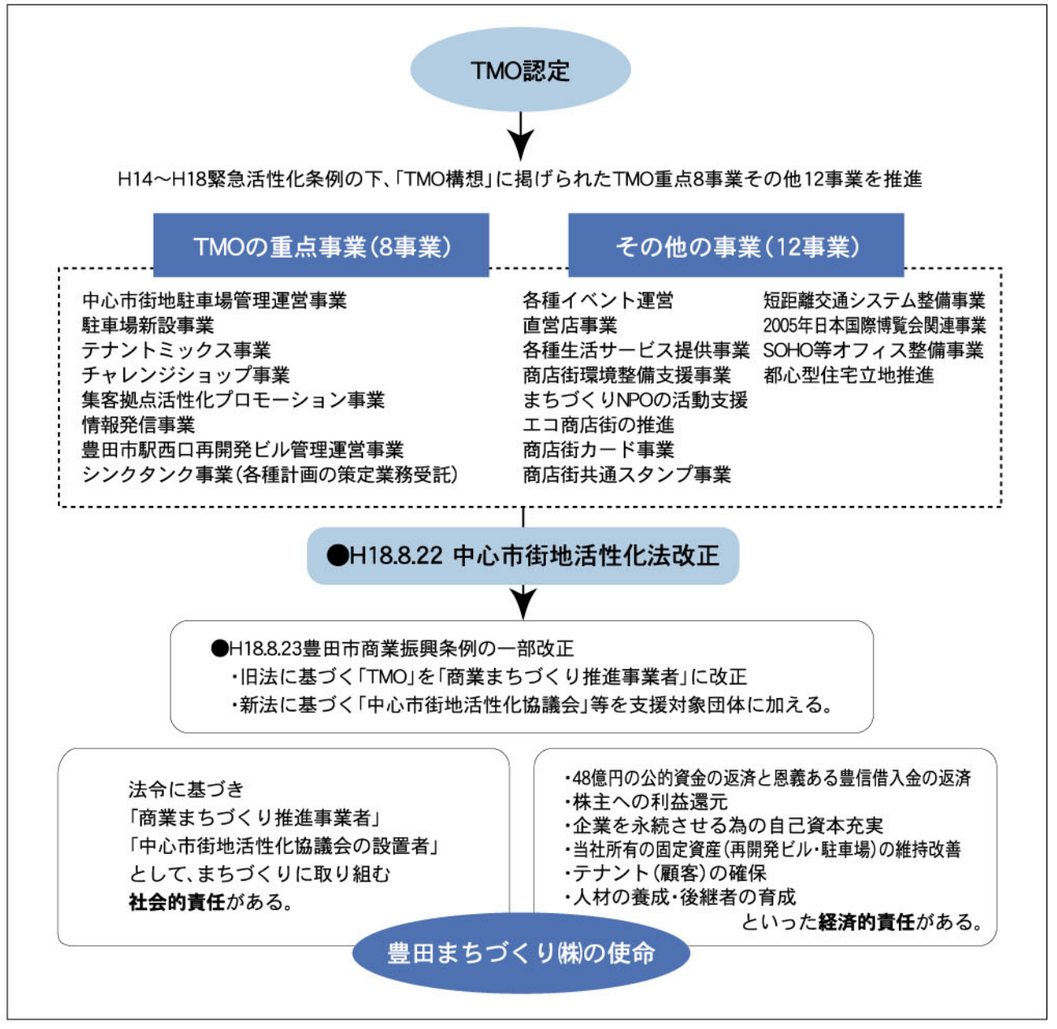
豊田まちづくり(株)の設立経緯・事業経過及びまちの変遷

■第二期3カ年計画(平成17年度～19年度)経営強化前進の期

平成17年	**5月25日**	**平成17年度第2回取締役会　借入金48億(豊田市)の早期返済開始を決議**
	6月 8日	豊田市より、豊田市商業活性化交付金、商業活性化推進3カ年計画の認定
	6月29日	平成16年度・第11期 定時株主総会
	7月29日	借入金(豊田市)の繰上げ返済開始
	10月 1日	ショッピングカート共同利用事業オリジナルカート登場
	10月25日	桜町本通り商店街振興組合ファサード整備事業TMO計画認定
平成18年	1月 5日	産業文化センター駐車場がフリーパーキング事業に加盟開始
	2月13日	駅西再開発ビル等総合管理委託業務(提案型見積競争)入札執行
	3月15日	豊田商工会議所会館竣工
	4月 1日	エコステーション21豊田駅西(ビル外周駐輪場有料化事業)開業
	4月30日	「桜町本通り商店街ファサード事業」「市道中町線・桜町1号線道路整備事業」完成式典
	6月28日	平成17年度・第12期 定時株主総会
	7月 8日	桜町本通り商店街八日朝市の開始
	8月 7日	まちなかレンタルサイクル社会実験(豊田市)スタート
	8月22日	**中心市街地活性化法改正**
	10月 7日	T-FACE飲食店街リニューアルオープン
	10月10日	**豊田市中心市街地活性化協議会設立**
	11月16日	コモパーキングオープン
	11月17日	ホテルトヨタキャッスルオープン
	12月 1日	まちなかワンナイトパーキング事業(実験)開始
平成19年	4月27日	コモ・スクエアオープン
	6月 1日	桜町ほうだら会、豊田市等と共に都市景観大賞「美しいまちなみ優秀賞」受賞 電波の日に東海総合通信局より表彰(TM若宮パーキングでのDSRC活用)
	6月27日	平成18年度・第13期 定時株主総会 **剰余金の配当を決議**
	7月 1日	豊田まちづくり(株)がまちなかレンタサイクル事業開始
平成20年	3月 4日	第8回中心市街地活性化協議会 **TCCM設置の決議**
	3月31日	第二期3カ年計画(平成17年度～19年度 経営強化前進の期)の終了

■第三期3カ年計画(平成20年度～22年度)飛躍への挑戦期

平成20年	4月15日	第1回TCCM定例会議(TCCM活動スタート)
	6月25日	平成19年度・第14期定時株主総会
	7月 9日	**国が「豊田市中心市街地活性化基本計画」を認定**
	10月 1日	豊田市がA館9階に「とよた子どもの権利相談室」開業
	10月 8日	**T-FACE開業20周年**
平成21年	**1月23日**	**国が豊田市を「環境モデル都市」として選定**
	2月26日	愛知県公安委員会が豊田まちづくり㈱を警備業認定
	3月 6日	とよた元気プロジェクト発足
	4月 4日	竹生線道路・街路灯完成記念式典 (行政・商店街・地域住民共働で進めてきた竹生線等周辺の道路整備完了)
	4月24日	愛知県が豊田市中心市街地を第一種大規模小売店舗立地法特例区域に指定 (①国道155号線並びに豊田市道駅西第2号線、欅通り線及び駅西5号線で囲まれた区域 ②豊田市道大洞長生線、蔵前陣中線、西町若宮線及び豊田市駅東歩行者道線で囲まれた区域)
	6月 2日	豊田まちづくり㈱鈴木代表取締役が全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議の会長に就任 (第3回総会にて)
	6月26日	平成20年度・第15期定時株主総会
	7月25日	当社受託による第41回豊田おいでんまつり開催
	9月14日	豊田市緊急雇用創出事業としてまちなかおもてなしパトロール事業開始
	9月26日	中心市街地まちづくり活動センター「パブリカ」オープン
	10月 1日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第５回勉強会(in高松市丸亀町)
	10月28日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.1開催
	11月 7日	新チャレンジショップOPEN
	12月16日	豊田市初ビジネスフェア開催(当社受託)
平成22年	2月18日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第6回勉強会(in豊田市)
	2月24日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.2開催
	3月31日	経済情勢の変動により第三期3カ年計画は平成22年3月末にて終了



■第四期3カ年計画(平成22年度～24年度)原点回帰の期

平成22年	4月 9日	豊田市が経産省の次世代送電網「スマートグリッド」実証実験都市に選定
	5月19日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第4回総会
	6月25日	平成21年度・第16期定時株主総会
	7月24日	当社受託による第42回豊田おいでんまつりの開催
	8月 2日	「打ち水大作戦2010 inとよた竹生線」の開催
	9月 1日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.3開催
	10月 1日	B館T-FACE１階リニューアルオープン
	10月 6日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第7回勉強会(in松山市)
	10月13日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業・経産省認定「西町商店街協同組合 商店街活性化事業計画」事業“豆庵”の開業
平成23年	2月17日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第8回勉強会(in宮崎市)
	3月 2日	中活基本計画事業-飲食店ストリート構築事業「西町はしご酒」No.4開催
	3月 4日	「西桜町通り花灯り」の開催
	3月25日	鞍ケ池スマートIC竣工
	5月18日	全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議第5回総会・(株)まちづくり松山へ会長バトンタッチ

会社概要

会社概要

【商　　号】 豊田まちづくり株式会社
【本　　店】 愛知県豊田市若宮町1丁目57番地1
【設　　立】 平成13年4月20日
【資 本 金】 授権資本 12億9,600万円
　　払込資本　4億9,090万円

【株主構成】

株　主	株主数	株主数比率（単位：%）	出資額（単位：千円）	出資額比率（単位：%）
大　企　業	25名	13.30	82,900	16.89
中小企業・個人	158名	84.04	36,300	7.39
内／商業関係	(73名)	(38.83)	(13,000)	(2.65)
団　体	4名	2.13	369,550	75.28
自己株式	1名	0.53	2,150	0.44
合　計	188名	100.00	490,900	100.00

【大 株 主】（100株以上）

株　主　名	株主数	持株数	出資額（単位：千円）	持株比率（単位：%）
豊　田　市	1名	6,240	312,000	63.83
豊田商工会議所	1名	991	49,550	10.13
トヨタ自動車株式会社	1名	400	20,000	4.09
株式会社三菱東京UFJ銀行	1名	200	10,000	2.04
株式会社大丸松坂屋百貨店	1名	200	10,000	2.04
豊田鉄工株式会社	1名	200	10,000	2.04
小島株式会社	1名	120	6,000	1.22
協同組合豊田市商店街連盟	1名	100	5,000	1.02
大豊工業株式会社	1名	100	5,000	1.02
豊田信用金庫	1名	100	5,000	1.02
太啓建設株式会社	1名	100	5,000	1.02
合　計	11名	8,751	437,550	89.52

※持株比率は、自己株式を除く発行済株式総数に対する持株数の割合であります。

【その他の株主】（100株未満）

持株数の別	60株	40株	30株	20株	10株	10株未満	自己株式	合計
株　主　数	2名	2名	1名	12名	29名	130名	1名	177名
持　株　数	120	80	30	240	290	264	43	1,067
出資額（単位：千円）	6,000	4,000	1,500	12,000	14,500	13,200	2,150	53,350

※発行済株式総数は9,818株、株主総数は188名となります。

【役員体制】 取締役および監査役（平成23年4月1日現在）

取締役会長	板倉　猛	財団法人豊田市都市整備公社　副理事長（豊田市駅前通り南開発株式会社　代表取締役）
代表取締役	鈴木 幸穂	豊田商工会議所　顧問（太啓建設株式会社　相談役）
取　締　役	中村 紀世実	豊田市　副市長
取　締　役	鈴木 辰吉	豊田市　産業部部長
取　締　役	村端 達也	トヨタ自動車株式会社　総務部部長
取　締　役	寺田 壽孝	豊田商工会議所第3商業部会　部会長（豊田酒造株式会社　代表取締役社長）
取　締　役	河木 照雄	豊田商工会議所　副会頭（株式会社山田屋　代表取締役）
取　締　役	小山 正之	豊田市駅前通り南開発株式会社　常務取締役
取　締　役	深津 和則	豊田まちづくり株式会社　取締役事業統括
監　査　役	田中 健一	豊田市　会計管理者
監　査　役	柘植　彰	豊田信用金庫　常勤理事本店営業部長

経営理念

豊田まちづくり(株)は、
1. 豊田市まちづくりのために、行政・会議所・商業者及び地域の方々と共働して、地域発展に寄与する各種事業を推進する。
2. 第三セクターの企業経営責任を自覚し、常に健全経営を追求して適切な情報公開のもと地域社会の信頼を得る。
3. 従業員の能力向上を支援すると共に、働き甲斐のある職場を目指し、その安心・安全と幸せを守る。

基本方針

1. 長期的な経営(利益)計画の策定・実行
2. 商業環境整備・地域開発等の各種まちづくり事業の推進
3. 商業デベロッパーとして迅速な事業展開及び新事業の企画開発
4. 人材の育成と働き甲斐のある職場づくり
5. CSRを自覚した企業経営の推進
6. 中心市街地活性化協議会及びTCCMとの協調によるまちづくり事業の推進

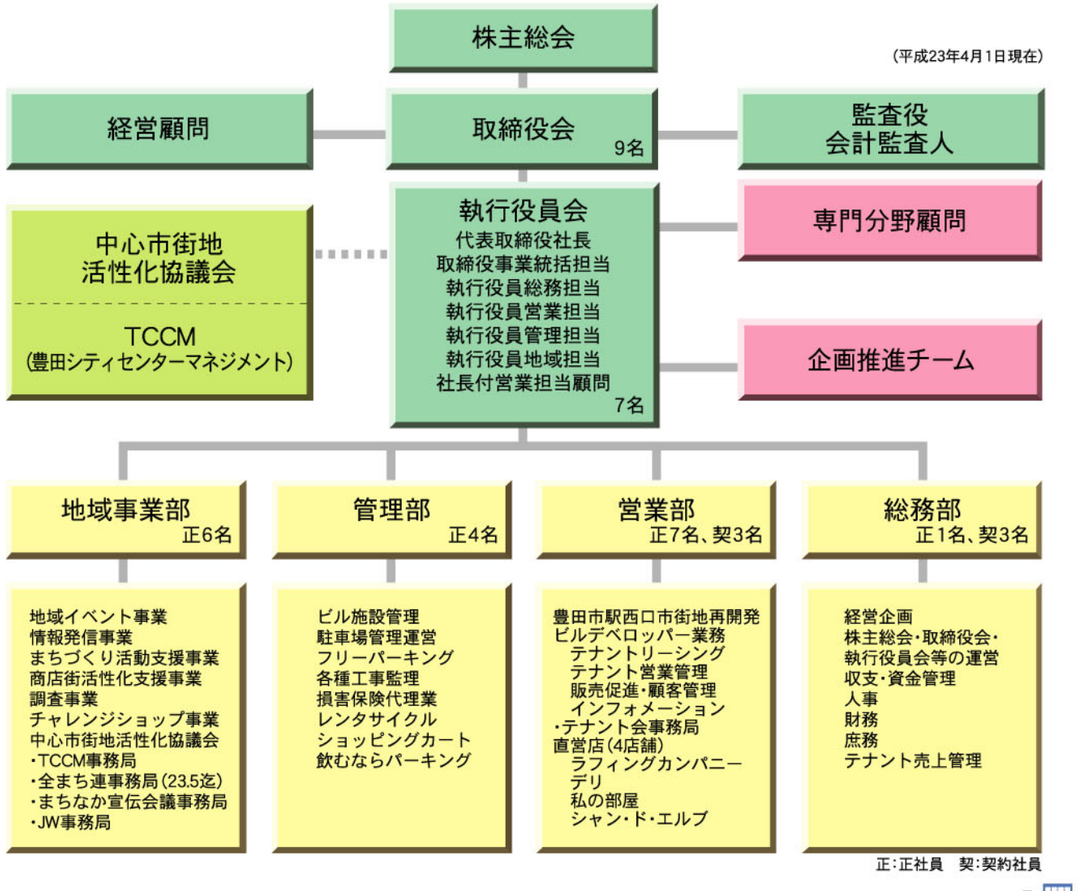
経営課題

1. 経済変動に耐え得る事業の再構築と経営強化策の推進
2. 資産価値向上のための計画的投資の実施
3. 商業活性化推進交付金事業及び中活計画に基づくまちづくり事業の推進
4. 豊田おいでんまつり受託事業の完遂と継続受託の実現
5. 借入金の返済と資金留保策推進
6. CSRを自覚した企業活動
7. 人材育成と組織力の強化

会社組織と主な業務内容

1. 経営顧問を委嘱し、経営全般にわたる助言を受ける。
2. 会社目標を達成するため取締役会の決定のもと、執行役員会を機能させる。
3. 中心市街地活性化協議会・TCCMとの連携により、まちづくり事業を推進する。

（平成23年4月1日現在）



正：正社員　契：契約社員

会社決算の推移

連続貸借対照表

（単位：千円）

		平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
資産の部	流動資産	228,284	655,584	688,923	555,685	667,282	713,274	818,673	731,759	776,709	785,304
	有形固定資産	7,650,321	7,955,322	7,281,517	7,094,206	6,778,285	6,586,272	6,403,534	6,153,274	5,939,073	5,887,912
	無形固定資産	2,311	2,615	5,782	15,689	13,825	19,210	20,991	15,342	10,537	6,590
	投資その他の資産	2,067,258	354,507	81,526	81,509	81,654	104,451	107,380	112,158	127,661	111,047
	資産合計	9,948,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982	6,790,854
負債・純資産の部	流動負債	1,932,275	1,162,075	712,541	616,665	669,422	707,681	769,770	577,726	608,165	643,280
	固定負債	7,758,742	7,376,353	6,868,037	6,627,822	6,335,341	6,095,300	5,865,285	5,636,356	5,377,587	5,347,031
	負債合計	9,511,017	8,538,429	7,580,578	7,244,488	7,004,764	6,802,982	6,633,055	6,214,803	5,985,753	5,990,312
	資本金	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900	490,900
	利益準備金							1,472	2,938	4,405	5,382
	繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082	306,417
	自己株式(△)							2,158	2,158	2,158	2,158
	純資産合計	437,159	429,600	477,171	502,602	536,283	620,226	717,523	798,452	862,228	800,542
	負債・純資産合計	9,848,176	8,968,030	8,057,750	7,747,090	7,541,048	7,423,208	7,350,578	7,012,536	6,847,982	6,790,854

連続損益計算書

（単位：千円）

	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
売上高	121,456	2,144,188	2,177,673	2,293,799	2,382,086	2,397,340	2,458,394	2,440,440	2,485,200	2,424,200
売上原価+販売費及び一般管理費	115,822	2,062,574	2,174,341	2,219,543	2,271,595	2,201,561	2,224,802	2,235,975	2,330,571	2,256,129
営業利益	5,634	81,614	3,332	74,255	110,491	195,778	233,592	204,465	154,628	168,071
営業外収益	550	6,307	124,583	65,887	83,358	47,055	36,004	36,201	20,137	19,950
営業外費用	42,615	98,649	93,638	102,978	103,316	58,437	75,068	55,815	44,697	50,434
経常利益	△36,430	△10,727	34,277	37,164	90,533	184,396	194,528	184,851	130,068	137,587
特別利益	0	25,676	1,630,308	50,401	621	0	8,934	13,788	19,854	22,904
特別損失	0	22,216	1,602,484	51,566	29,855	76,293	12,905	32,508	17,540	116,780
税引前当期純利益	△36,430	△7,268	62,100	36,009	61,299	108,102	190,556	166,131	132,382	43,710
法人税、住民税及び事業税+調整額	302	290	14,529	10,578	27,617	24,160	76,373	70,539	53,944	95,622
当期純利益	△36,732	△7,558	47,570	25,430	33,681	83,942	114,182	95,592	78,438	△51,911
前期繰越利益剰余金	△17,008	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082
利益剰余金配当額(△)							14,727	14,662	14,662	9,775
利益準備金積立額(△)							1,472	1,466	1,466	977
繰越利益剰余金	△53,740	△61,299	△13,728	11,702	45,383	129,326	227,308	306,772	369,082	306,417

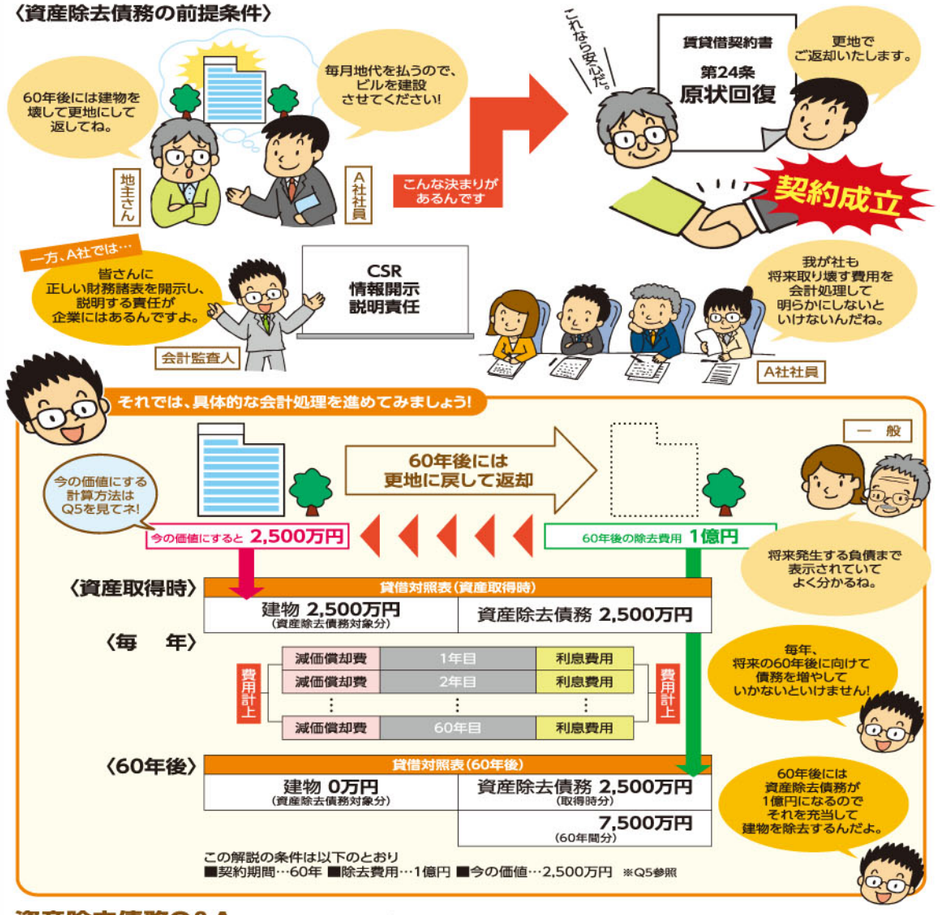
設備投資の状況

（単位：千円）

平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
駅西再開発ビル土地・建物、駐車場の取得等	ビル内装、TM若宮P(一部)等	TM若宮P、GAZAビルテナント誘致等	TM若宮P事務所、シティプラザ整備、中央監視システム等	ビル設備・内装、情報セキュリティ等	ビル設備・内装・会計契約管理システム等	ビル設備・内装、入退館・勤怠管理・入室システム等	ビル設備・内装、社内パソコン更新等	ビル設備、直営内装、ビル底地、チャレンジショップ改装等	直営シャン・ド・エルブ内装、飲食店ストリート(中活事業)等
7,729,870	687,894	1,281,808	240,108	67,440	120,971	116,449	50,025	78,628	72,408

資産除去債務とは？

当社は平成22年度（第17期決算期）末より「資産除去債務に関する会計基準」（企業会計基準第18号平成20年3月31日）及び「資産除去債務に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針21号平成20年3月31日）を適用しております。



資産除去債務Q&A（一般的な考え方に基づいております）

Q1 いつから資産除去債務を計上しないといけませんか？

A1 2010年4月1日以降に開始する事業年度から強制適用となります。

Q2 全ての企業が計上しないといけませんか？

A2 上場企業やその関連会社（子会社含む）、会計監査人を設置している会社が適用範囲となります。

Q3 どのような建物が対象となりますか？

A3 地主さんと賃貸借契約を結んでおり、契約期間終了後に原状回復して更地に戻す契約をしている場合が対象となります。

Q4 建物を建設してから撤去するまでの期間は何年にすればいいですか？

A4 賃貸借契約の契約年数や建物の法定耐用年数を使用します。

Q5 どうやって将来取り壊す費用を今の価値にしますか？

A5 適用初年度の基準割引率（従前の公定歩合）を使用して、将来の撤去費用から基準割引率で割り戻せば今の価値になります。

【例えば】現在の預金1億円を年利2.298%で運用すると、60年後にはいくら？

現在 100 ▶×2.298▶ 1年後 102 ▶×2.298▶ 2年後 104 ……… 57年後 365 ▶×2.298▶ 58年後 373 ▶×2.298▶ 59年後 382 ▶×2.298▶ 60年後 390（単位:百万）

【今の価値を計算するには？】60年後の1億円は現在の価値でいくら？

60年後 100 ▶÷2.298▶ 59年後 97 ▶÷2.298▶ 58年後 95 ……… 3年後 27 ▶÷2.298▶ 2年後 26 ▶÷2.298▶ 1年後 26 ▶÷2.298▶ 現在 25（単位:百万）

Q6 どのように会計処理しますか？

A6 将来取り壊す費用を今の価値に割引いて負債として計上し、毎年「利息費用勘定」で費用として計上すれば最終的には負債金額＝除去費用となります。また、同額を資産（資産除去債務対象分）として計上し、毎年「減価償却費勘定」で資産価値を減らしていくと、最終的には資産金額（資産除去債務対象分）＝ゼロとなります。

Q7 過去に建設した建物はどのように計算するのですか？

A7 過去の分は適用開始年度に一括して特別損失に費用として計上します。

Q8 毎年、費用計上する「利息費用」と「減価償却費」は税務上は損金算入されますか？

A8 現行の法人税上では損金として認められません。よって課税対象となります。

豊田まちづくり(株)の取り組み 主な業務内容

車の両輪

豊田まちづくり㈱は、平成13年4月、新たな使命を背負って設立された第三セクターの旧TMO法人である。
緊急活性化計画の推進とCSRを自覚した株式会社経営の実現は、当社に携わる全ての者が自覚すべき経営責任であり、それは例えるなら、クルマの両輪であり、全輪である。
そこに、人物金の全体最適配置がされてクルマは走ると考える。例え法が変わろうと、この精神は不変である。



豊田まちづくり(株)の主な事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル管理運営事業










□魅力があり快適な商業空間と良好な共存共栄関係の構築
- ▶ビル経営戦略の策定
- ▶ビル全体のテナントミックス、リーシング
- ▶キーテナント松坂屋との連携事業
- ▶専門店街T-FACE管理運営業務
- ▶T-FACE会事務局業務(販促活動、総務活動)

□店舗の経営ノウハウ習得と魅力ある店舗構成の実現
- ▶直営店事業
  - ・ラフィングカンパニー(アウトドアショップ)
  - ・デリ(輸入食材・雑貨)
  - ・私の部屋(生活雑貨)
  - ・シャン・ド・エルブ(コスメティック用品)

□安心安全で快適なビル環境の整備
- ▶一体管理委託方式によるビル管理業務
- ▶防災計画の策定・訓練実施

駐車場関連事業

□来街者の利便性を高め、良好なアクセス環境を実現
- ▶駐車場事業
  - ・第1駐車場の管理運営
  - ・第2駐車場の管理運営
  - ・若宮駐車場の管理運営
  - ・昭和町駐車場の管理運営
  - ・TM若宮駐車場の管理運営、DSRC活用事業
- ▶有料駐輪場事業

中心市街地活性化基本計画に基づく事業

□中心市街地活性化協議会・TCCMへの人的参画・情報共有

□中心市街地活性化・商業活性化事業
- ▶まちなか宣伝会議による集客プロモーション事業
- ▶まちなか宣伝会議による情報発信事業
- ▶特色あるストリート・空き店舗再生事業(豆庵)

□中心市街地のコミュニティ創出事業
- ▶官民協働によるまちづくり活動センターの運営支援



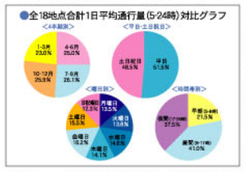














中心市街地で展開する事業

□商業活性化・賑わい創出事業
- ▶中心市街地大型店の連携共同事業
- ▶豊田市中心市街地商店街の共働・支援事業
  - ・桜町本通商店街振興組合(八日朝市)
  - ・西町商店街協同組合(とよた西町はしご酒・灯り事業)
  - ・豊田市駅前商業協同組合(活性化計画の策定)
  - ・豊田市商店街連盟小坂発展会(活性化計画の策定)
- ▶地域イベント受託・主催・支援事業
- ▶ジョイカルウェイブ(若者文化創出)
- ▶チャレンジショップ「TM-SEED」(商売人育成)

□良好なアクセス環境の実現
- ▶フリーパーキング事業(3時間駐車場無料サービス)
- ▶ショッピングカート共同利用事業
- ▶まちなかレンタサイクル事業
- ▶飲むならパーキング事業
- ▶まちなかクリーンアップ事業

□地域住民によるまちづくり活動を支援
- ・竹生線沿線4自治区まちづくり協議会
- ・西桜町地区まちづくりを考える会

広域のまちづくり活動支援

□中心市街地以外の商店街の活動支援
- ・足助商工会、足助中央商店街協同組合

その他事業

- ▶各種調査受託事業
- ▶損害保険代理店業
- ▶警備業(施設警備・雑踏警備)
- ▶直営店事業
  - ・サークルK鞍ケ池ハイウェイオアシス店

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業

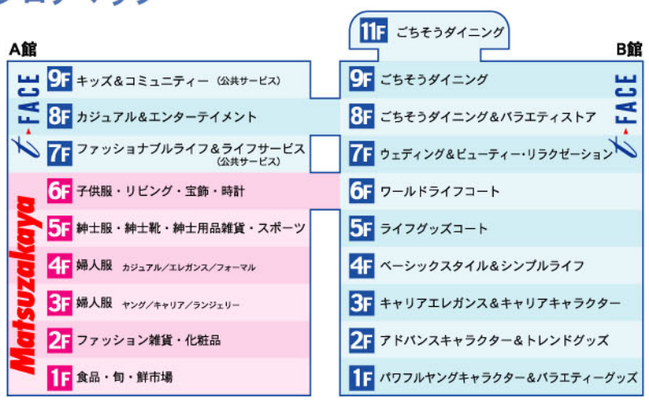
豊田市駅西口市街地再開発ビルの概要

当社は、豊田市駅西口市街地再開発ビルを所有し賃貸している。キーテナントとして「松坂屋豊田店」を誘致し、専門店街「T-FACE」の管理運営を行っている。また賃貸事業の一環として、直営店事業を展開している。

再開発ビル営業の再生

昭和63年10月に竣工した豊田市駅西口市街地再開発ビルは、A館、B館のツインビルで、百貨店「豊田そごう」(A館全館・B館4階～11階)とファッション専門店街「T-FACE」(B館1階～3階)の複合ビルとしてスタートした。平成12年12月に豊田そごうの閉店後、A館1階～6階に「松坂屋豊田店」を誘致、その他のフロアのすべてを専門店街「T-FACE」として再オープンに至った。その後、平成16年3月にB館3階、同年9月にB館4階、平成18年10月にB館8-9階(飲食フロア)をリニューアルしている。

再開発ビルフロアマップ



施設概要

建物名称　豊田市駅西口市街地再開発ビル
建物面積　延床面積　　66,519㎡(A館:43,466㎡　B館23,020㎡)
店舗面積　松坂屋豊田店　19,500㎡
　　T-FACE物販　15,282㎡　飲食・サービス5,276㎡
店 舗 数　84店舗(教室含む・平成23年6月現在)

再開発ビル管理運営にあたっての基本的な考え方

①当再開発ビルが豊田市中心市街地商業の中心核であり、その役割を完遂させることが中心市街地活性化における当社の社会的責任であるとの自覚の下、地域の大型店、商業者他地域コミュニティーと連携・協働して活性化を進めることを重要としている。

②商業デベロッパーとして自らが、明確な経営ビジョン・コンセプトを保持し、共存共栄の理念を持って、専門店テナントと共にお客様に喜んでいただける魅力的な商業空間を創造する。

③的確な「情報」「知識」「創造性」を持って、提案型・未来志向性あるビル運営を目指す。

専門店街「T-FACE」の管理運営事業

T−FACEコンセプト

ヤングからヤングマインドを持った、ファッション・流行に敏感な女性をメインターゲットとし、都市型ファッションビルとして、常に新しい情報を発信する役割を担う。

SCデベロッパー業務

一般にSCデベロッパーとは、保有床にテナントを誘致し、個別の賃貸借契約で収益を得、自らのショッピングセンターを管理運営している管理会社である。
T-FACEでも、20,558㎡の店舗区画に、80店以上のテナントを誘致して区画の賃貸借を行っている。しかし、T-FACEの管理運営においては、不動産管理や施設管理だけを業務としないマーチャンダイジングデベロッパーとして、テナントとの共同発展を目指した日常の店舗運営にも深く携わり、①マーケター②プランナー③オペレーターの3つの役割を遂行している。



①マーケター機能(市場把握)
市場規模、商圏競合、ニーズ&シーズ、予実差益分析、ロ―コスト化推進、顧客分析、現状調査、トレンド把握

②プランナー機能(経営戦略)
ビルの中短期計画、MDの方向性～コンセプト、まちづくり計画、キーテナントおよび大型店間の回遊計画、テナントミックスプラン、CIプラン、リニューアル計画、販売促進環境計画、T-FACE会の企画運営



③オペレーター機能(日常営業)
売上管理業務、営業管理、MDの遂行、CI維持、ショップサポート、安全衛生管理、防犯防災管理、救急救護、T-FACEインフォメーション運営、直営店4店舗営業、店舗入れ替え、退店対応、新店対応、契約管理、工事監理、貸しホール催事、地域とのコミュニケーション機能の充実、まちなかクリーンアップ、T-FACE会の運営


シティプラザで開催のイベント

携帯サイトへのアクセスはこちら

http://www.t-face.com/
http://www.t-face.com/m/

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市駅西口市街地再開発ビル等管理運営事業

T-FACE会事務局業務

T-FACEに出店している店舗とデベロッパーである当社で、専門店のテナント会「T-FACE会」を組成している。当社はT-FACE会の事務局を担当し、会員からのテナント会費を独立した予算で、①共同の販促活動、②総務活動(従業員教育、福利厚生、会議)の公正な運用にあたっている。
尚、会長、副会長職、監査役は、豊田まちづくり以外の店舗の本部、オーナーに務めていただいている。

①の販促活動では、直近1年間の売上、顧客データをもとに翌年の戦略の方向性を決め、年間を通じて取組む。その戦略をベースに、季節毎の営業企画を組み立てる。近年の戦略で最も重要な位置にあるのが顧客施策で、高い反応率を持ち、売上の牽引役として一般販促とは別の計画を持って取組んでいる。
②の総務活動の中でも、スキルアップ研修と従業員満足(ES)は、年々重要度が増してきている。その２つは直接的な販促策ではないが、販促に直結しており、またお客様満足(CS)に繋がるもので、T-FACE会総務活動の中でも注力している項目である。

①販促活動
館内装飾、告知広告、交通広告、パブリシティ、ホームページ、メールマガジン、ブログ、セールスプロモーション、集客イベント、T-FACE CLUB運営、T-FACE CLUB分析、スターメンバー、会員育成(クラスターズ施策)、店長向けマーケティング研修、ショップ分析レポート作成、エリアとの共同販促、まちなか宣伝会議、まちなか放送　など

②総務活動
店長会、業種別店長会、フロア朝礼、T-FACE会理事会、総会、クルーブログ、モーニング元気アナウンス放送、スキルアップ研修、まちなかクリーンアップ大作戦、ショップクルー交流パーティー、まちなかオープン研修、来店客調査、覆面調査、T-FACE CLUB会員調査、ディスプレイコンテスト、グッとクルーコンテスト、年間競争、健康診断・インフルエンザ予防接種の斡旋　など

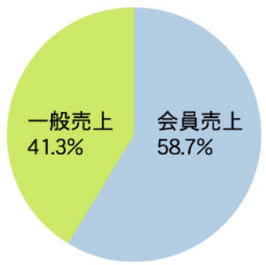
【平成23年度のコミュニケーションメッセージ】

JUMP

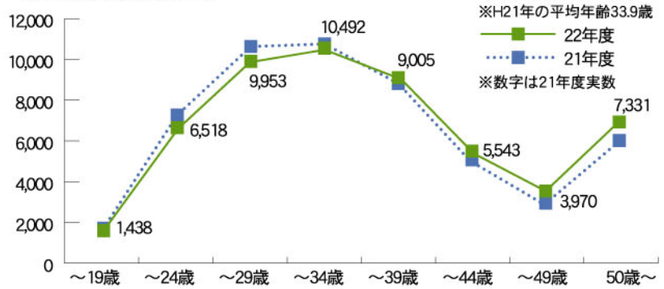
お客様へは業種や「馴染みの店」の壁を越えた利用促進を。
T-FACE クルーへは店や業種を超えた交流を促進。
日本全体が今一つになって大きな壁を乗り越える今年。
T-FACEも息を合わせてジャンプしよう！

T-FACE CLUB 会員データ 【データ抽出期間:平成22年度:平成22年2月1日～平成23年1月31日】

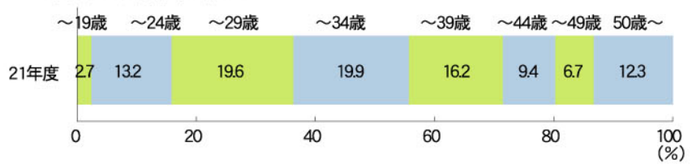
売上構成比



年齢別利用会員数(人)



年齢別利用会員構成比



直営店事業について

■まちづくり会社、商業デベロッパーが直営店出店を行う理由、メリット、期待効果を以下のように考え、現在はT-FACE館内に4店舗出店している。
・店舗経営・運営ノウハウの蓄積、デベロッパー業務へのフィードバック
・出店フロアへの知名度・集客力向上
・直接的な収益事業
・将来的な中心市街地への出店による、地域活性化貢献

■ラフィングカンパニー(アウトドアショップ)



平成6年10月／豊田市広路町 オープン
平成14年3月／A館T-FACE 8階 移転リニューアルオープン
店舗面積／80坪

アウトドア専門店としてトレッキング、キャンプからクライミング等のアウトドアアクティビティをウェアからグッズまでトータルコーディネートで提案。また、アウトドアファッション専門店としてもこだわりをもち、定番から旬のブランド(パタゴニア、ザ・ノースフェイス、コロンビア、ホグロフス等)を揃え、展開する。

≫ http://www.t-face.com/shop/a_floor/A8F/85201.html

■デリ(輸入食材・雑貨)



平成12年3月／B館T-FACE 6階 オープン
店舗面積／73坪

世界の食材・アルコールや食材に関連する雑貨で、生活に密着する『食べること、食べる時』をより楽しく、豊かにすることをコンセプトに『食シーン』を演出・提案。また『食シーン』から広がる生活雑貨を幅広く展開し、幅広い客層に応える品揃えとしている。

≫ http://www.t-face.com/shop/b_floor/B6F/60101.html

■私の部屋(生活雑貨)



平成21年4月／B館T-FACE 6階　リニューアルオープン
店舗面積／45坪

暮らしに喜びを感じることのできる「モノ」と軽やかで明るい生活を楽しむためのアイデアを常に提供し、季節や月日の移り変わりを細やかな気配りで感じる生活スタイルを提案。また、気軽なギフトからフォーマルギフトまでお客様のニーズに合わせた多種多様なギフト提案を展開する。

≫ http://www.t-face.com/shop/b_floor/B6F/60701.html

■シャン・ド・エルブ(コスメ＆ライフスタイルショップ)



平成22年10月／B館T－FACE1階 オープン
店舗面積／25坪

Champ de Herbe(シャン・ド・エルブ)はフランス語で「香草の畑」を意味する。“Beauty boutique”をショップコンセプトに、女性の“美と健康と癒し”をテーマに生活提案とキレイと楽しい毎日を演出する身の回り品を提案するライフスタイルショップ。トレンドのコスメ、コスメ雑貨、基礎化粧品等幅広く展開し、OL層から主婦層まで広くお客様のニーズに応えられる品揃えを展開する。

≫ http://www.t-face.com/shop/b_floor/B1F/11104.html

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地大型店の連携・共同事業

中心市街地大型店の連携・共同事業

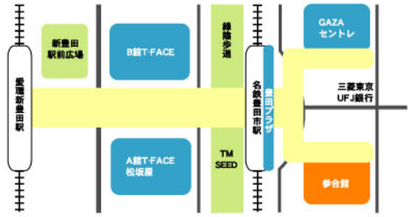
豊田市中心市街地活性化の商業集客核として、また当エリアにおける各業態としての役割の達成状況を相互に確認し、異業態間の相乗効果・回遊性等を考慮した改善案の策定と、実現のための方策を探る会議体である。既存大型店を有機的に連動させ、一つの大型ショッピングモールなみの回遊性・楽しさを創出し、より一層の集客を図ることを目的とする。
また、今後の中心市街地開発者に対し、情報の提供と、まちに必要とされる機能・業態を研究会として提案も行う。中心市街地活性化の一役を担い、エリアの商業集客を向上させる。

当エリアにおける各業態(百貨店、SM、専門店街等)および総合力として持ち得るパワーを検証し、
現状の消費流出、店舗間MDバランス等々悪さ加減を認識し、不備・欠落部分を改善する。
出席メンバー連帯による相乗効果を最大限発揮するための方策を検討し、実施する。

①郊外型SC等競合店とのパワーバランスとその原因把握より、展開の方向性を探る。
②名古屋流出を食い止めるMDの可能性とMDプランを探る。
③各店の課題の改善(各店間の相乗効果発揮を踏まえ)を図る。
④大型店回遊・買い回り促進の仕組み(⇒ソフト面、ハード面)を検討する。
⑤上記をふまえ、各自リニューアルへの取り入れをする。

参加商業施設

商業施設名	業　　種
松坂屋豊田店	百　貨　店
GAZA	専門店街
メグリアセントレ	S　M
名鉄豊田プラザ	駅高架下専門店街
T-FACE	専門店街



第1期3ヵ年(平成17年度～平成19年度)・第2期3ヵ年(平成20年度～平成22年度)の活動内容

平成17年度「大型店テナントミックス研究会発足」
平成18年度「各大型店の方向性の確認、MDモデルプラン作成」
平成19年度「今後の推進プランの作成」

・各大型店の現状把握と郊外SCの分析
・大型店の役割を共通認識
・マーケット把握からのMDプランの作成
・市民ニーズの高い不足業態・業種の把握

平成20年度「大型店をつなぎ、ショッピングモール化へ」
平成21年度「回遊モデルルートの作成」

・5年後をイメージした各社MDプランの更新、実施および共通認識
・回遊性・魅力向上にむけたペデストリアンデッキでのBGM放送開始
・回遊モデルルートの作成と現状のルート内の不具合個所の確認

平成22年度「大型店共同販促回遊企画の実施」

・EXILEコンサート開催に合わせて回遊イベントの開催
・現状の回遊ルートの調査および不具合個所のヒアリング
・大型店のMD・リーシング担当者による情報交換会開催



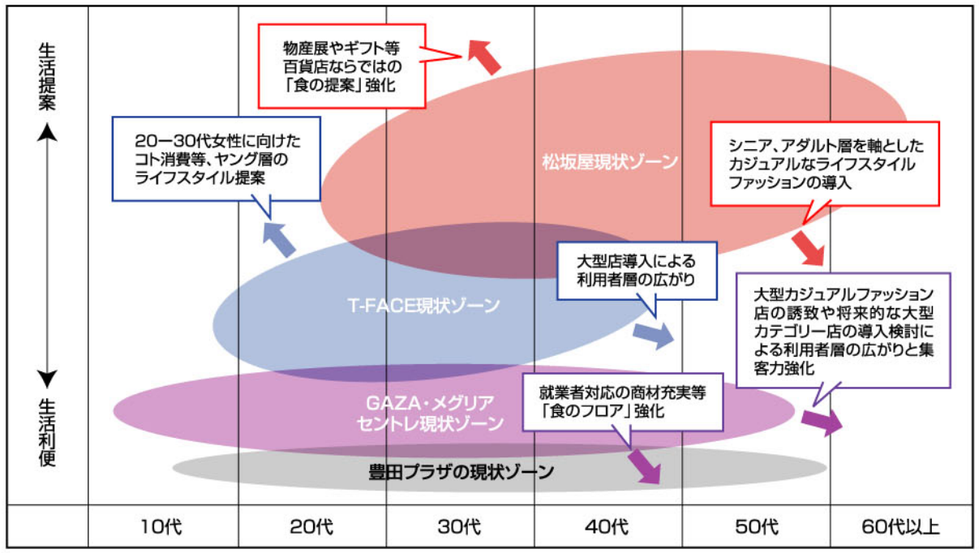
テナントミックス実施事例

T-FACE	1階リニューアルオープン　2010.10
	コスメ、下着、靴下等の女性向け日用品の補完と衣料品の導入
	「イーハイフンワールドギャラリー」(レディス衣料)、「ノーザリー」(下着)
	「シャン・ド・エルブ」(コスメ)、「サブウェイ」(サンドイッチ)等
セントレ	1階「マラティ」(ナン、デザート専門店)オープン　2011.1
豊田プラザ	1階「WILL COM」(携帯電話)オープン　2010.9
	1階「ふくいや」(居酒屋)オープン　2010.11

平成23年度の活動内容

① 各社MDプラン実現に向けた取組み
・定例会開催による情報共有、意見交換
・各社MDの実現に向けた、担当者レベルのリーシング情報交換会の開催
・プランに向けた各社社内調整およびテナント誘致

参考資料:各商業施設のマトリックス・方向性



② 回遊策・魅力づくりの検討と実施
・回遊性・魅力づくりの考え方

Key Word
1. 動脈となるペデストリアンデッキとグランドフロアの居心地やすさづくり
2. 来街者を受け入れる大型店のおもてなし体制の良質化

・豊田市駅東西回遊を促す共同販促イベント検討と実施
市内開催の大型イベント(おいでん祭り、Jリーグ、コンサート等)とのコラボ企画等を開催し、来街者の回遊を促す。

・デッキの共同BGM放送～情報放送の有効活用

・回遊性向上のためのサイン看板等の設置
豊田市駅、新豊田駅に大型店誘導のサイン設置(案)

・各大型店店舗スタッフの合同スキルアップ研修実施の検討
大型店のサービス向上、レベル統一を目標とし、来年度研修開催に向けた研修内容を検討する。

・不具合個所の見直し、修正
22年度実施のアンケートを踏まえたモデルルート案を豊田市に提出、提案する。また、各大型店の不具合個所の改善を図る。

豊田まちづくり(株)の事業

管理事業

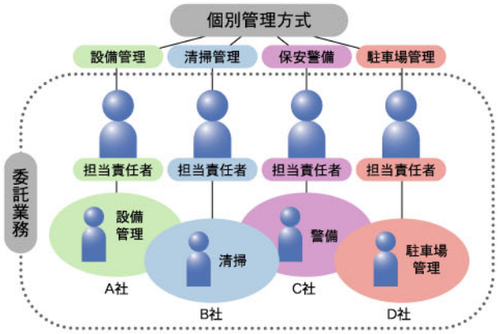
施設維持管理運営事業

事業概要

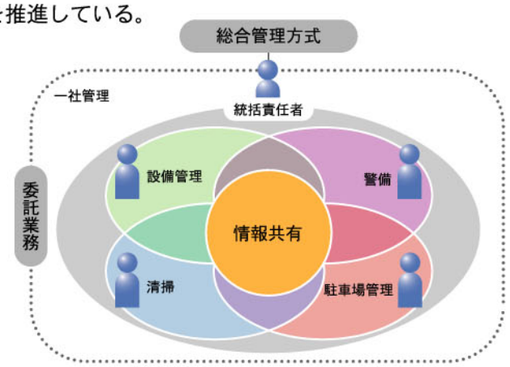
豊田市駅西口市街地再開発ビルの「設備管理」「清掃管理」「保安警備」、及び自社が運営する「駐車場管理」により、お客様にとって、安心安全で快適な施設環境づくりを推進。また、効率的かつ円滑な維持管理運営を行い、経費削減や省エネ等の環境負荷低減に配慮した管理方式を構築する。

管理業務の一括総合管理

施設の健全な維持管理業務にするため、各管理業務の推進の他に、緊急時の迅速な対応、業務部門間での連携や意識統一、また作業量の急な変化にもフレキシブルに対応すべく、管理委託は一社で管理する総合管理方式を導入。業者の選定は入札金額のみならず、独自の技術やスキルなどその会社固有の提案も選考条件とする提案型見積競争入札を実施。安定した維持管理のために、契約期間は3年間。統括責任者と担当責任者による毎月定例の管理全体会議を行い、品質の向上・業務の効率化を推進している。



■個別管理の問題点
①担当責任者および従者の人員増
②業者間、業務部門間の協力が困難
③品質の統一化が困難、情報伝達の時間・労力浪費

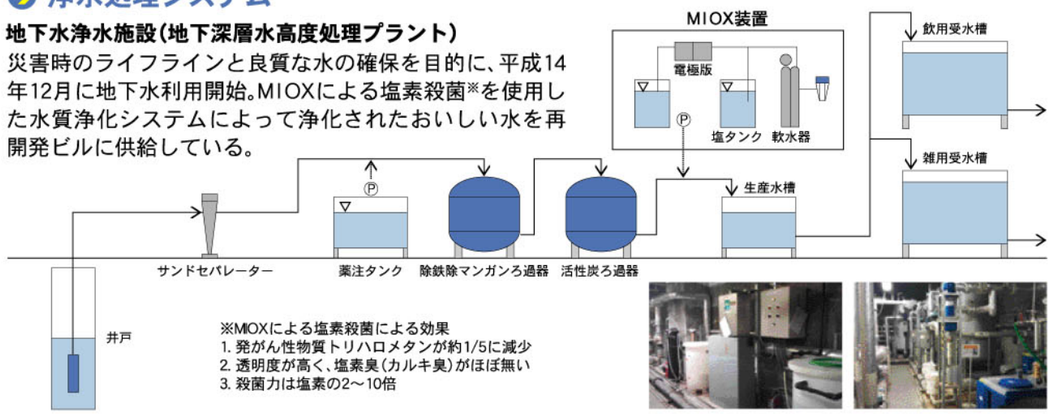


■総合管理のメリット
①業務量の変化、突発事案に柔軟に対応
②部門間での要員の共用、省人化
③品質の標準化、情報伝達・意思決定迅速化

浄水処理システム

地下水浄水施設(地下深層水高度処理プラント)

災害時のライフラインと良質な水の確保を目的に、平成14年12月に地下水利用開始。MIOXによる塩素殺菌※を使用した水質浄化システムによって浄化されたおいしい水を再開発ビルに供給している。



※MIOXによる塩素殺菌による効果
1. 発がん性物質トリハロメタンが約1/5に減少
2. 透明度が高く、塩素臭(カルキ臭)がほぼ無い
3. 殺菌力は塩素の2～10倍

警備業

イベント等のプロモーション事業において、雑踏警備や施設警備など、警備業務を要件とした委託に対応するべく、豊田まちづくり㈱が自ら警備業認定を取得。公安当局の指導のもと、発注者との綿密な打ち合わせを行い、強固な警備体制を構築、常に安全な管理運営を目指す。　平成21年2月警備業認定取得

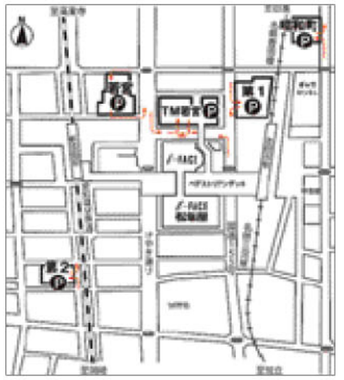


駐車場事業

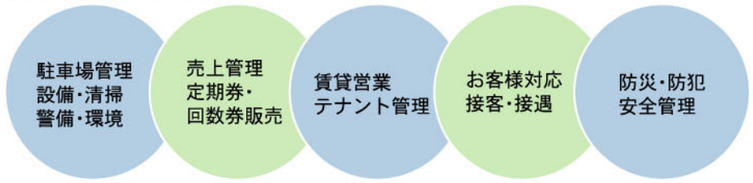
お客様に喜ばれる駐車場運営

駐車場概要

駐車場		収容台数	構成比	賃貸区画	階	竣工
自社管理駐車場	第一駐車場	314台	8%	929.3㎡	7階建	昭和63年
	第二駐車場	109台	3%		6階建	昭和63年
	若宮駐車場	485台	12%		6階建	昭和63年
	昭和町駐車場	221台	5%		5階建	平成7年
	TM若宮パーキング	412台	10%	919.6㎡	6階建	平成15年
	計	1,541台	37%	1,848.9㎡		
11駐車場(自社以外)		2,591台	63%			
フリーパーキング16駐車場		4,132台	100%			



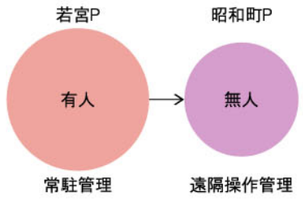
主な事業内容



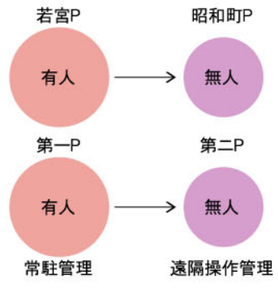
管理業務の人的体制の特徴
―駅西ビルとの管理会社一元化―
- 設備・清掃・警備業務の共用化
- 夜間はビル警備員が常駐監視
- 車上荒らし対策に、駅西ビルの警備員やメンテナンス要員が巡回
- 事故など突発対応時の要員支援

駐車場管理の変遷(イメージ)

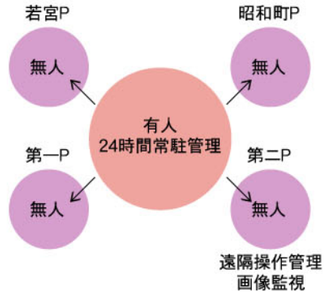
(1)複数施設の一元管理“群管理”
平成7年~
駐車場ゲートバーの遠隔操作
年7,300万円削減



(2)“群管理”の拡大
平成8年~平成16年
駐車場ゲートバーの遠隔操作
年14,600万円削減



(3)“集中管理と遠隔操作・画像監視”
平成16年~
センター駐車場の24H遠隔操作・画像監視
年18,500万円削減



損害保険代理店業

リスクからガード、安心をサポート

豊田市駅西口市街地再開発ビルの賃貸営業や管理運営、立体駐車場ビルの管理運営、また各種イベント等の集客プロモーション事業の経験を活かし、様々なリスクから保険契約者をカバーする最適な損害保険を提案する。

[取扱保険会社]
三井住友海上火災保険株式会社、東京海上日動火災保険株式会社、あいおいニッセイ同和損害保険株式会社、株式会社損害保険ジャパン、富士火災海上保険株式会社



豊田まちづくり(株)の事業

フリーパーキング事業

中心市街地の駐車サービスの一元管理

導入の背景

「駐車料金が高い！」「どの駐車場に停めたらよいかわからない！」「駐車場が少ない！」など、中心市街地駐車場に対するお客様からの課題が山積みの中、まちを構成する商店や大型店・事業所や公共施設など、それらを利用するお客様に向け、中心市街地の駐車場を3時間無料とすることで駐車場課題の解決の第一歩を踏み出したいと考え、開始した。
システム導入は国と豊田市の補助を受けて整備を行い、運営はすべての加盟店が利用料金を負担し合いシステムを支えている。

事業概要

目　　的　中心市街地への来街促進と駐車場利用者の利便性向上
事業開始　平成15年4月1日
事業内容　①中心部の加盟駐車場のシステム統一と加盟店利用(買い物等)による利用者への駐車料金3時間無料サービスの提供
②加盟駐車場、加盟店(店舗・施設)の利用状況等の各種情報の一元管理と駐車場からみた中心市街地活性化策への活用
補 助 金　経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市　「豊田市中小企業団体等事業費補助金」
※いずれもシステム導入事業費としての補助金



事業の仕組み

利用者(お客様)

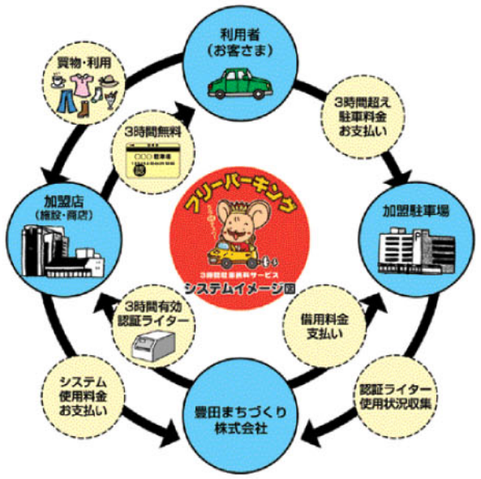
買い物または利用した加盟店(店舗・施設)で駐車券に3時間無料サービスの認証を受け、駐車場を利用
(超過分は利用者負担)

加盟駐車場

豊田まちづくり(株)と駐車場利用契約を締結、
豊田まちづくり(株)は各駐車場事業主に借用料
(借上げ料)の支払い

加盟店(店舗・施設)

加盟手続き後、豊田まちづくり(株)へシステム利用料の支払いと利用者へ3時間無料サービスの提供

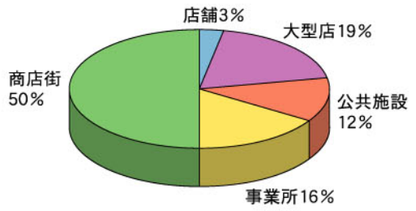


携帯サイトへのアクセスはこちら

http://www.tm-freeparking.com/

加盟店加入状況(平成23年3月31日現在)

【認証ライター配付状況】



【加盟店加入状況の推移】

加盟店分類	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
大型店	99	103	104	113	122	122	135	135
公共施設	43	45	80	87	89	86	86	86
事業所	118	129	123	143	120	119	112	115
商店街	187	192	228	254	294	311	337	355
店　舗	39	42	36	33	30	30	26	24
合　計	486	511	571	630	655	668	696	715

※事業開始から2年間の普及期間を経て、平成17年4月より各加盟店の利用に応じた料金とした。加盟店に負担が大きくならないよう料金割引率を商店街加盟店舗は高く設定した結果、商店街加盟店舗が大幅に増加した。

加盟駐車場

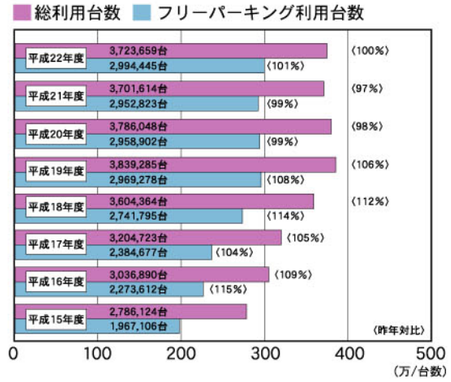


加盟駐車場16ヶ所　合計4,132台収容

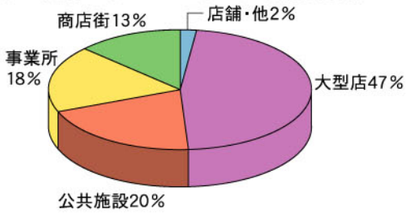
①**産業文化センター駐車場**(市)
280台収容　8:00～22:00
②**新豊田駅西駐車場**(市)
43台収容　24時間営業
③**第2駐車場**(豊田まちづくり(株))
109台収容　7:00～23:00
④**若宮駐車場**(豊田まちづくり(株))
485台収容　7:00～23:00
⑤**新豊田駅地下駐車場**(県公社)
170台収容　6:00～23:40
⑥**TM若宮パーキング**(豊田まちづくり(株))
412台収容　24時間営業
⑦**ヴィッツ駐車場**(民間)
685台収容　24時間営業
⑧**第1駐車場**(豊田まちづくり(株))
314台収容　6:30～25:00
⑨**昭和町駐車場**(豊田まちづくり(株))
221台収容　7:00～23:00
⑩**ギャザパーキング**(市公社)
225台収容　24時間営業
⑪**喜多町駐車場**(市公社)
524台収容　24時間営業
⑫**豊田参合館駐車場**(市公社)
111台収容　24時間営業
⑬**コモパーキング**(市公社)
250台収容　24時間営業
⑭**西町丸太パーキング**(民間)
172台収容　24時間営業
⑮**元城駐車場**(市)
100台収容　8:00～22:00
⑯**児ノ口駐車場**(市)
31台収容　8:00～22:00

加盟駐車場利用実績(年間累計)

【総利用台数とフリーパーキング利用台数】



【加盟店別フリーパーキング利用内訳】



豊田まちづくり(株)の事業

TM若宮パーキング DSRC活用駐車場事業

駐車場事業

事業概要

目　　的　中心市街地への来街者の利便性を高めるとともに、ペデストリアンデッキ等との連結によりまちなかを回遊しやすい環境を整え、集客力を高める。また、中心部に位置し、24時間利用出来る駐車場であることから、大型商業施設をはじめ、公共施設・公共交通機関・商店・イベント利用時等に際して、これまで以上に各施設へアクセスしやすい環境を整備した。
経済産業省「中心市街地商業等活性化総合支援事業費補助金」
豊田市　　「中小企業団体等事業費補助金」

事業内容　新駐車場建設、連絡通路及びB館2階風除室の新設工事

駐車場概要

開 業 日　平成16年3月20日(土)
延床面積　13,935.87㎡
収容台数　412台
構　　造　鉄骨造(FR鋼)地上6階建塔屋1階
自走式連続傾床式立体駐車場



●幅2.6mの広い車室

ご利用案内

営業時間　24時間営業・年中無休
駐車料金　30分150円(24:00～翌6:00 30分100円)
サービス　フリーパーキング加盟駐車場
豊田市共通駐車サービス加盟駐車場
車両制限　車高2.1m・車長5.0m・車幅2.0m未満


●ハートフルエリア

●高速エレベータ

●24ｈ監視の管理室

利用実績

項　目	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
年間総利用台数	10,355台	609,490台	703,909台	745,604台	747,086台	739,105台	741,252台	753,837台
月あたり利用台数	——	50,791台	58,659台	62,134台	62,257台	61,592台	61,771台	62,820台
日あたり利用台数	941台	1,670台	1,929台	2,043台	2,041台	2,020台	2,031台	2,065台
日あたり回転数	2.3回	4.1回	4.7回	5.0回	5.0回	4.9回	4.9回	5.0回

DSRC活用駐車場事業

事業概要

平成16年度に豊田市が社会実験で使用したDSRCシステム一式を豊田まちづくり㈱が借受けし、平成17年6月より事業展開している。
登録車両が駐車場ゲートに近づくと自動でゲートバーが開閉し、フリーパーキング同様に3時間無料サービスを受けられる。
駐車券は不要となるため、精算機への車寄せや、窓から身をのり出す必要もなく体の不自由な方にも優しいサービスとなっている。

※DSRCとは、高速道路のETCで使われる専用狭域通信。
※利用には事前登録が必要(千円/1台・1年)。3時間を超えた駐車料金は、利用者負担となる。



豊田まちづくり(株)の事業

飲むならパーキング事業

飲んだら乗らない、これ大人の常識。

事業概要

“飲み会に誘われたけれど、クルマだし。駐車料金も高くつくし‥‥お酒はガマン〈〜 ´〉そんなときでも「飲むならパーキング」加盟店なら、安心してお酒も飲めて、駐車代も心配なし！まちなかの加盟店でお酒を飲んで、指定の駐車場にとめれば、ワンコインで車を預かります。駐車料金を気にせず、豊田のまちなかへドンドン飲みにお越しください。”



T-FACEレストラン街のお客様サービス「ワンナイト・パーキング」(平成15年9月から実施中)の“まちなか版”として展開。平成18年12月、福岡市職員の飲酒運転による幼児死亡事故を機に、飲酒運転防止策として取組んでいる。

事業内容

アルコールを提供する加盟店で飲食したお客様は、駅周辺の指定駐車場(官民７駐車場)に翌日正午まで、最大19時間をワンコイン(500円)で駐車が可能。加盟店は予め駐車場事業者からチケットを1枚500円で購入しお客様に販売する。

事業主体　豊田まちづくり㈱(ＴＭ若宮パーキング)
事業協力　カシマゴビルディング㈱(ヴィッツ駐車場)、豊田市(新豊田駅西駐車場)
㈶豊田市都市整備公社(喜多町駐車場、ギャザパーキング、コモパーキング、参合館駐車場)
加盟店舗　若宮町、月見町、小坂本町、西町、喜多町、桜町、昭和町、竹生町内の本事業の加盟飲食店
ＵＲＬ　http://www.tm-toyota.co.jp/

豊田まちづくり(株)の事業

ショッピングカート共同利用事業

まちなかの買物を楽しく便利に

事業概要

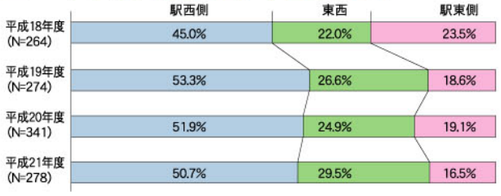
豊田市ならではのオリジナルカートでまちなかショッピング。指定エリア内であれば、お店ごとにカートを乗り換えずに屋外でも利用でき、小さなお子様もご機嫌、重たい荷物もラクラク。快適なお買物をサポートするこの事業は、豊田市の商業活性化推進交付金を活用し、まちなかの回遊性向上による商業活性化を目指している。

事業内容

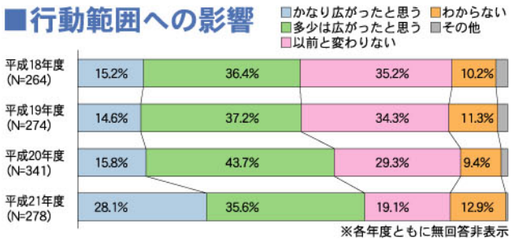



事業開始　平成17年5月1日
利用時間　毎日10:00~21:00
事業主体　豊田まちづくり㈱(T-FACE)
事業協力　㈱大丸松坂屋百貨店(松坂屋豊田店)、豊田市駅東開発㈱(GAZA)、トヨタ生活協同組合(メグリアセントレ)
管理運営　各施設の既存管理システムと要員を活かし、カート回収や維持管理等の管理費用の低減・効率化を推進
カート台数　40台(レクサス10台、セルシオ10台、ランドクルーザー10台、ちび丸号10台)
事業効果　ショッピングカート利用者アンケート調査の結果(抜粋)

■エリア別(駅東西)の回遊比率



■行動範囲への影響



※各年度ともに無回答非表示

豊田まちづくり(株)の事業

有料駐輪場事業

安全・安心・快適な駐輪場をめざして

事業概要

お客様がとめることが出来ない自転車駐輪場・・・、通勤・通学者の自転車が歩道をふさぐ・・・、全国の駅前施設が悩む「放置自転車問題」を解決すべく、NCD社の「エコステーション21」をT-FACE、松坂屋の外周に導入した。フリーパーキング同様に、最初の3時間は無料、その後の料金も低額とし、お客様、通勤・通学者にも好評を得ている。

事業開始　平成18年4月1日
設置場所　豊田市駅西口市街地再開発ビル
(T-FACE・松坂屋豊田店)※右下MAP参照
設置管理　日本コンピュータ・ダイナミクス㈱(NCD)
駅西ビルの警備会社とNCDサポートセンターによる
24時間管理運営体制
設置台数　550台(自転車350台、バイク73台)※設置場所は、右下のmap参照
利用料金　最初の3時間無料、その後12時間ごとに自転車50円、バイク100円


導入前


導入後

豊田まちづくり(株)の事業

まちなかレンタサイクル事業

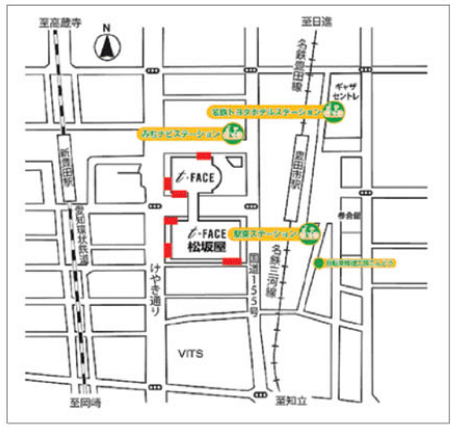
豊田のまちを自転車で走ろう

平成15年9月、中心市街地の商店街組織が行うレンタサイクルを豊田まちづくり㈱がサポート。その後、豊田市が「中心市街地来訪者交通対策モデル事業」の自転車共同利用社会実験(豊田まちづくり:企画協力・運営主体)として利用者ニーズを調査し、良好な実験結果と豊田市からの強い要請もあり、豊田まちづくり㈱が平成19年7月に事業化した。豊田市商業活性化推進交付金事業として、移動支援による回遊・買回り促進、商業活性化を目的に実施している。

事業概要

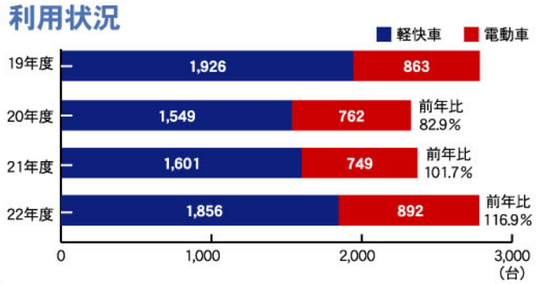
事業主体　豊田まちづくり㈱
事業協力　自転車修理工房こんどう
(駅東ステーション、自転車修理・点検・維持管理)
名鉄トヨタホテル(名鉄トヨタホテルステーション)
㈶豊田都市交通研究所(みちナビステーション)
㈱メンテック(緊急対応、自転車回収・再配置)
軽快車(13台)100円/日
利用時間　9:00～19:00(貸出は18:30まで)
利用料金　電動自転車(6台)200円/日
回数券(11枚綴り)1000円
U R L　http://www.tm-toyota.co.jp/





有料駐輪場

利用状況



豊田まちづくり(株)の事業

多目的広場(シティプラザ)整備事業

市民が集う交流拠点

事業概要

豊田市駅西口市街地再開発ビルB館T-FACE前に位置する「シティプラザ」を整備。周辺との回遊性を改良し、明るいオープンスペースにするとともに、ステージやベンチを配置し、イベントの開催や憩いの場としても利用できる多目的広場として改修した。
経済産業省「商業サービス業集積関連施設整備費補助金」、豊田市「中小企業団体等事業費補助金」

内　容　①ひまわり時計を撤去、国道155線からのアクセスを改良
②ペデストリアンデッキからの階段を末広がり型へ形状変更
③常設ステージとベンチの配置
④街路灯および植栽用スポット照明の設置
⑤デザインクリート床
竣　工　平成16年8月31日


整備前


整備後







豊田まちづくり(株)の事業

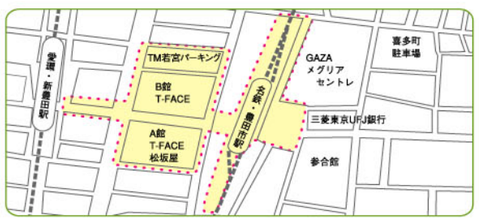
まちなかクリーンアップ事業

キレイなまちにはキレイな文化が宿る

事業概要

お客様をもてなすには、まず、“まちの玄関”から。毎月第一土曜日に有志が集まり、駅周辺の清掃活動を実施。活動は平成14年11月1日の第1回目から、今年で10周年。T-FACEや松坂屋豊田店をはじめ、㈱メンテックなど地元企業や、夏休みには小学生が自主参加。駅周辺を中心に、ペデストリアンデッキや緑陰歩道、バスターミナルやタクシー乗場などをクリーンアップしている。





豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地商店街支援事業

豊田まちづくり(株)は、商店街の活性化計画策定や、販売促進活動・共同イベント事業に対して支援し、魅力ある商店街づくりを目指す。

商店街活性化計画の策定支援

■桜町本通り商店街振興組合

「第Ⅲ期[平成23年度～25年度]商店街活性化計画策定支援」
平成23年3月　豊田市産業部商業観光課　認定



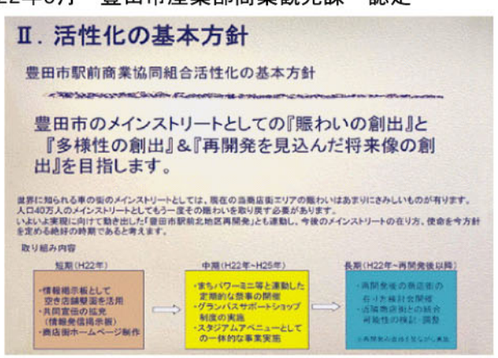
■西町商店街協同組合

「第Ⅱ期[平成22年度～26年度]商店街活性化計画策定支援」
平成22年6月　経済産業省中部経済産業局　認定



■豊田市駅前商業協同組合

「第Ⅰ期[平成22年度～24年度]商店街活性化計画策定支援」
平成22年6月　豊田市産業部商業観光課　認定



■これまでの商店街活性化計画策定実績

- **桜町本通り商店街(振)**
  第Ⅰ期 商店街活性化計画策定(平成16年9月)
- **桜町本通り商店街(振)**
  第Ⅱ期 商店街活性化計画策定(平成20年5月)
- **ひまわり通り商店街(振)**
  第Ⅰ期 商店街活性化計画策定(平成20年3月)
- **一番街商店街(振)**
  第Ⅰ期 商店街活性化計画策定(平成20年3月)

商店街の活動・共同イベント事業の支援

■桜町本通り商店街振興組合「八日朝市」

●「八日朝市」出店者の誘致


地元生産農家


手づくり雑貨


豊田市シルバー人材センター


手づくりパン

●「八日朝市」イベントの開催


地元小学校の体験学習の場として「八日朝市」を提供


地元小学校の体験学習の場として「八日朝市」を提供


ちんどん屋


地元大学による地域活動グループ「とよた学生プロジェクト」との連携

■西町商店街協同組合

●「西町はしご酒」イベントの運営支援


運営会議の様子


イベント開催当日:参加店前の行列


イベント開催当日:回る店舗を選ぶ参加者

豊田まちづくり(株)の事業

チャレンジショップ TM SEED

新しい創業者の発掘・支援

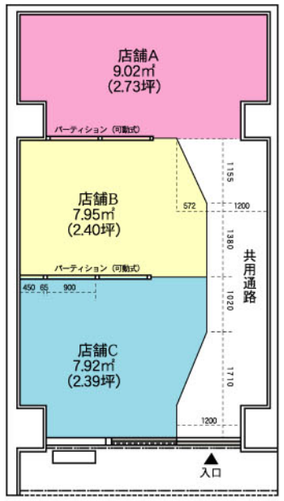
チャレンジショップとは

「いつか自分の店を持ちたい！」という意欲ある“将来の商売人”に、商売に適した環境の店舗を貸し、一緒に商売のノウハウを積んで行こうというショップ形態。これまでにない個性的な店舗の育成と、豊田市商業の活性化を狙う。

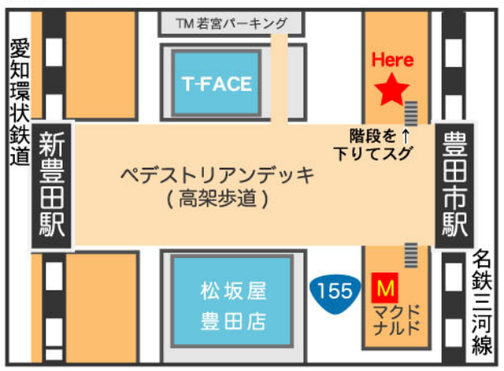
チャレンジショップ概要

名　称	チャレンジショップ「TM SEED」 「T」＝とよた　「M」＝まちづくり　「SEED」＝種
場　所	豊田市若宮町（名鉄豊田市駅西口）
事業開始	平成14年11月（平成21年11月現場所に移設）
補助金名	豊田市中小企業団体等事業費補助金
店舗形式	空き店舗を改装 最大3店舗に区画割り
区画坪数	約2.4～2.7坪
出店条件	販売業及びサービス業（飲食業は除く） 独立欲の高いチャレンジャー 取扱い商品にこだわりを持っている店舗 豊田市に今までなかった商品展開を持つ店舗

【店舗平面図】



【所在地】





【現在の店舗の様子】

アジアンアーツ
（天然石・シルバー・レザー製品）



ジュエルナ・ボーテ
（ジェルネイル）



店内の様子



チャレンジャー育成支援

【サポート内容】

1. 商売に適した環境の店舗の貸出（1区画）
   家賃20,000円/月、水道光熱費10,000円/月、共益費10,000円/月　（税別）
2. 専門講師・豊田まちづくり㈱による店舗運営（店づくり、接客、顧客管理）に関する基本指導
3. 豊田商工会議所による簿記・確定申告指導
4. 共同販促（装飾やイベント、雑誌掲載などの広告宣伝等）
5. 出店者のコンサルティング・相談

【独立サポート】

1. 独立希望店舗のコンサルティング・相談
2. 中小企業センター経営指導員への相談
3. 融資相談・補助
4. 独立先物件探しサポート
5. 独立支援補助金（豊田市）申請
   （補助内容:開店時の店舗改装費50%、3年間の家賃50%（上限あり））





【研修カリキュラム】

1ヶ月～3ヶ月	4ヶ月～6ヶ月	7ヶ月～9ヶ月	10ヶ月～12ヶ月	1年後
店づくり（商品配置・陳列・ディスプレイ他）		ステップアップ診断	ステップアップ	独立開業
売上管理（月次・日次日報業務・簿記他）				
商品管理（商品仕入れ・在庫管理他）			独立準備	延長営業
顧客管理（顧客ノート・ポイントカード）				独立が延びた要因の改善
販売促進（POP・イベント企画他）				
接客（基本）	接客（応用）		接客（不得意・悩み解決）	

事業実績ならびに独立店舗　平成23年3月現在

期　間	平成14年11月～	平成17年11月～	平成20年11月～	事業開始からの合計
出店店舗数	9店舗	9店舗	7店舗	38店舗
独立店舗数	5店舗	5店舗	3店舗	10店舗

【現在中心市街地で営業中の独立店舗】



店　舗　名：MOTHER EARTH
取扱商品：古着
開　業　日：平成16年5月26日（水）
住　　所：豊田市西町1丁目



店　舗　名：自転車修理工房こんどう
取扱商品：自転車修理、自転車部品他
開　業　日：平成18年12月16日（土）
住　　所：豊田市西町1丁目

豊田まちづくり(株)の事業

まちなか宣伝会議

まちが本気で動きだす。力を合わせて動きだす

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

設立の経緯と目的

豊田市中心市街地において事業を展開する商業施設・商店街・集客施設・行政関係者が、毎月1回意見交換・情報交換をするための任意会議体としてH15.8月設立。各企業・団体の販促・宣伝担当を構成メンバーとし、官民一体となった共同事業を展開している。

＜目的＞ ①中心市街地への来街促進を図る。
②中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信・提言する。
③中心市街地イベント事業への提言・連携的取組みを模索する。

主な内容

□3ヶ月単位を目処とした、構成メンバー各位の事業スケジュールの情報交換・情報共有
□共同事業の企画・実行(集客事業・情報発信事業等)
□構成メンバー各位の持ち寄り事項の協議・策定




構成メンバー　25企業・団体(H23年4月15日現在)

(株)大丸松坂屋百貨店 松坂屋豊田店／T-FACE会／トヨタ生活協同組合／豊田市駅東開発(株)／カシマゴビルディング(株)／(株)豊田スタジアム／トヨタ自動車(株)／名鉄トヨタホテル／ひまわりネットワーク(株)／(協)豊田市商店街連盟／豊田市美術館／豊田市コンサートホール・能楽堂／豊田商工会議所／豊田市近代の産業とくらし発見館／豊田市駅前通り南開発(株)／(株)ホテル豊田キャッスル／(株)ハクヨプロデュースシステム／トヨタすまいるライフ(株)／財団法人 豊田市体育協会／豊田産業文化センター／公益財団法人 豊田市国際交流協会／あいち豊田農業協同組合／豊田市市民文化会館／エフエムとよた株式会社／事務局:豊田まちづくり(株)地域事業部

活動実績

□まちなかトピックス(H15.10～)
　共通フォーマットの広告モデル作成→構成メンバー発行の印刷媒体へ相互掲載
□グルメクーポン(H15.11～)
　集客施設の催事期間中に飲食店のサービスクーポンを配布
□とよたまちパワーフェスタ(H16.3～)
　中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信する共同集客イベント　※毎年、春・秋に開催
□まちなかWEB(H17.9～)http://www.toyota-machinaka.com/
　中心市街地の魅力・機能を市民・消費者に発信するホームページ(商品・催事の情報発信)
□まちなか情報誌「とよたまちなかガイドブック」(H17.9～)
　まちパワーフェスタ開催に併せてフェア・セール・トピックスの掲載、オリジナル情報誌の発行
□まちなかイメージアップ・CI活動(H19.12～)
　中心市街地のイメージアップの為の、啓発ポスターの作成
□とよた元気プロジェクト「WE LOVE とよた」への参画(H21.3～)
　まちパワーフェスタ同時開催(地産地消キャンペーンイベント「オールとよたまちなか商ルーム」の実施など)
□まちなか宣伝ナビ(H21.4～)http://www.toyota-machi.com
　まちなかWEB携帯版　※みちナビとよた「おいでんバス」バス停2次元バーコードと連動
□まちパワーmini(H22.6～)
　既存事業の期間を埋める、継続的なミニイベント・参画ネットワークづくり　※年間、4・5回開催
□まちなか掲示板「まちなかボード」(H22.12～)
　旧おいでんビル壁面に、構成メンバーの情報を伝える掲示板を設置

平成22年度の主な活動実績

まちなか宣伝会議

□とよたまちパワーフェスタ2010秋の開催
開催日:平成22年10月9日(土)・10日(日)



□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2010秋



施設設置(4,300部)、イベント時配布(5,700部)

□まちなか情報誌の発行
とよたまちなかガイドブック2011春



施設設置(8,300部)、イベント時配布(1,700部)

□とよたまちパワーフェスタ2011春の開催
開催日:平成23年3月19日(土)・20日(日)



□まちパワーフェスタminiの開催



「一箱古本市」
平成22年6月26日(土)



「まちなか音楽祭」
平成22年8月21日(土)



「一箱古本市」
平成22年12月5日(日)



「あったか屋台フェスタ」
平成23年2月25-26日(金土)

□ホームページによる情報発信

まちなかWEB
www.toyota-machinaka.com



まちなか宣伝ナビ
http://toyota-machi.com



□まちなかボードによる情報発信




豊田まちづくり(株)の事業

地域イベント事業

人で賑わう、出会い交遊の場となるために

中心市街地の主な周年イベント・お祭りカレンダー(●主催、主催メンバー事業／○受託事業)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
洞泉寺 楽市楽座●	ふれ愛フェスタ○	まちパワーmini●(予定)	豊田おいでんまつり○ 豊スタおいでん夏まつり●○	まちパワーmini●(予定) 交通安全フェア○	産業フェスタ○ まちパワーmini●(予定)	挙母まつり オールトヨタビックホリデー トヨタロックフェスティバル●	クラシックカーミーティング	まちパワーmini●(予定) イルミネーションストーリー●○	まちパワーmini●(予定)	まちパワーmini●(予定)	まちパワーフェスタ春●

平成22年度の主な実施(主催・受託)イベント

□ふれ愛フェスタ2010
平成22年5月30日(日)




□豊スタおいでん夏まつり(マイタウンおいでん)
平成22年7月3日(土)



□第42回 豊田おいでんまつり 踊りファイナル 平成22年7月24日(土)、花火大会 平成22年7月25日(日)










□交通安全フェア2010
平成22年8月28日(土)～29日(日)




□とよた産業フェスタ2010
平成22年10月9日(土)～10日(日)




ジョイカルウェイブ http://toyotarockfestival.com 音楽を切り口にした若者文化創出支援事業





■タイトル TOYOTA ROCK FESTIVAL´10
■日　　時 平成22年10月10日(日)
■場　　所 豊田スタジアム　西イベント広場
■来場者数 延べ12,000人
■ジョイカルウェイブ主催団体(敬称略)
・トヨタ自動車株式会社
・財団法人豊田市文化振興財団
・愛知県労働者福祉協議会豊田支部
・トヨタ自動車労働組合
・豊田商工会議所
・株式会社豊田スタジアム
・T-FACE会
・豊田まちづくり株式会社

□足助商店街スタンプラリー
平成22年10月25日(月)～12月19日(日)
□足助の良いモノ、たんころりんでおもちかえりん
平成22年12月4日(土)～12月5日(日)
□足助なごやかウォーキング講習会
平成22年12月19日(日)
□足助ＤＥ婚活
平成23年1月30日(日)



□イルミネーションストーリーinとよた2010
平成22年11月20日(土)～平成23年1月10日(月)



□三河上郷駅前・緑野の会イルミネーション
平成22年12月4日(土)～平成23年2月28日(月)



□国土政策フォーラムinとよた
平成23年2月11日(金祝)



□とよたビジネスフェア2010
平成23年3月10日(木)～11日(金)



豊田まちづくり(株)の事業

まちづくり活動支援事業

住民または行政からの受託により、地域住民のまちづくりの気運の醸成や継続的なまちづくり活動を支援する。

■竹生線沿線4自治区まちづくり協議会による継続的なまちづくり活動への支援

平成21年3月に(都)竹生線は電線類地中化工事が完了し、地域住民のまちづくり活動団体「竹生線沿線4自治区まちづくり協議会」によって、整備された街並みの景観維持やまちなかに賑わいをつくる取組み実施」に向け、その活動を支援している。

・打ち水大作戦2010 in　とよた竹生線の開催　平成22年8月2日(月)16時～

保水性の高い舗装材を使った竹生線の約1㎞で打ち水を行った。まちづくり協議会が参加を呼びかけ、浴衣姿の商店主や住民ら約500人が、風呂の残り水やためた雨水を利用し、打ち水を行った。

●打ち水当日の様子





●ちらし・開催場所



■西桜町地区まちづくりを考える会

同地区は豊田市駅前に位置し、再開発ビルコモ・スクエアの完成、道路の電線埋設など都市化が進むなかで、歩道幅の狭い歩道や、老朽化した木造住宅が密集しているところがあるなど課題が多い。しかし、お寺や古い街並みが残っており、いままで気づかなかったまちの魅力を発見しながら周辺とは少し趣が違う、魅力的な店舗がある地区をめざして、将来に向けたまちづくりの一歩として、アクションを起こした。

・西桜町通り花灯りの開催　平成23年3月4日(金)・5日(土)

お寺や路地、お店などの地域素材にスポットをあて、“灯り”と“いけばな”のイベントを開催。「そぞろ歩きをして、豊田市の駅前の都市とは違う魅力を再発見してもらうきっかけづくりを」を合言葉に回遊性の向上を目的としたイベントを開催した。







●西桜町地区まちづくりを考える会
活動位置図



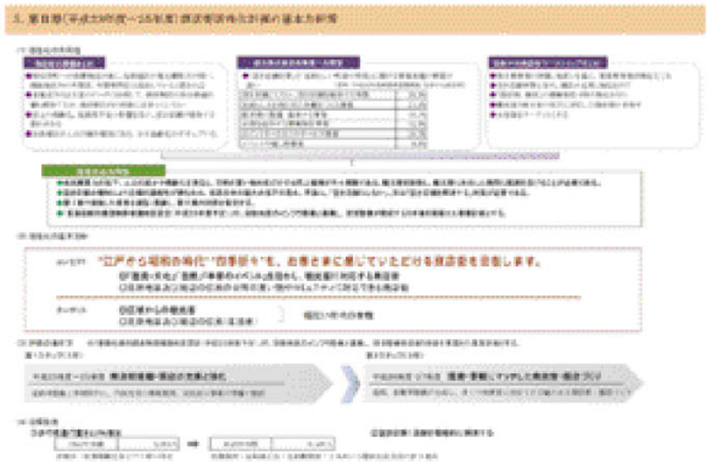
豊田まちづくり(株)の事業

広域のまちづくり活動支援事業

豊田市中心市街地のみならず、広域で活動し、商店街の計画策定や事業の協力やサポートを行っている。

計画策定の支援

■足助中央商店街協同組合「第Ⅱ期[平成23年度～25年度]商店街活性化計画策定支援」
平成23年3月豊田市産業部商業観光課　認定



計画策定のワークショップの様子





■足助商工会「第Ⅱ期[平成23年度～25年度]商業活性化交付金事業計画策定支援」
平成23年3月豊田市産業部商業観光課　認定



事業や共同イベントへの支援

■足助中央商店街協同組合「中馬なごやか市」
●市の運営補助



商店街の通りの様子



店舗前のイベント「にがお絵」



駐車場を利用した市の様子

●チラシの作成



■足助商工会「集客イベント事業」
●集客イベントの企画、運営

足助の良いモノたんころりんでお持ちかえりん



足助の灯ろう「たんころりん」を竹かごに見立てその中にお気に入りのお店の商品を詰め合わせて、オリジナルお土産をつくるイベントを開催。





足助町並みウォーキング





足助の町並みを楽しみながらのウォーキングを開催。

豊田まちづくり(株)の事業

豊田市中心市街地のまちづくり事業

豊田まちづくり(株)は、豊田市中心市街地活性化協議会の一員として、豊田市中心市街地活性化基本計画事業、とりわけ民間・官民事業を推進している。

飲食店ストリート構築事業

名鉄豊田市駅南西に、空き店舗・遊休地の、飲食店を中心とした店舗化の推進及び営業店舗の共同イベントにより、特色あるストリートづくりを行っている。

■西町商店街協同組合のイベント「とよた西町はしご酒」

事業主体　西町商店街協同組合
目　　的　居酒屋を中心に夜間営業の飲食店が組合員の約5割を占める西町商店街を特徴づける。
店舗や通り(界隈)の認知度向上を図り、回遊性や賑わいを創出する。
内　　容　2夜限定の飲み歩きイベント。消費者(参加者)は1セット5枚つづりの券を購入し、5店"はしご"をする。飲食店はチケット1枚につき自慢の1品と1ドリンク(アルコール又はソフトドリンク)のセットメニューを提供する。
実施結果

開　催　時　期	参加店舗数	チケット販売冊数(参加者数)
第１弾　平成21年10月28日(水)・29日(木)	12店舗	702冊
第２弾　平成22年2月24日(水)・25日(木)	29店舗	1,656冊
第３弾　平成22年9月1日(水)・2日(木)	26店舗	1,859冊
第４弾　平成23年3月2日(水)・3日(木)	29店舗	2,030冊

第2弾　パンフレット



イベント当日の様子





■空き店舗活用事業

基本計画事業「飲食店ストリート構築事業」のエリアの空き店舗に飲食店を誘致し、平成22年10月より営業を行っている。
誘致する飲食テナントの選定にあたっては、中心市街地に不足しており、かつ消費者から、特に女性からの要望が高い「女性が一人でも食事ができる店づくり」、「昼間の営業」や「甘味、喫茶の提供がある」ことを出店の条件とした。

■「空き店舗活用事業」概要

事業主体　豊田まちづくり株式会社
所 在 地　豊田市西町6丁目62番地
建物構造　鉄骨３階建て
賃貸面積　114.16㎡(34.54坪)　3階建ての1階を賃貸

■飲食店内容

屋　　号　豆庵(まめあん)
開 店 日　平成22年10月13日(水)
営業時間　11時～23時

店舗外観



改装後



改装前

メニュー



ランチ「豆膳」



カフェ(デザート各種)



夜「瓢の宴」

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田市中心市街地活性化基本計画

1 中心市街地活性化基本計画策定の背景

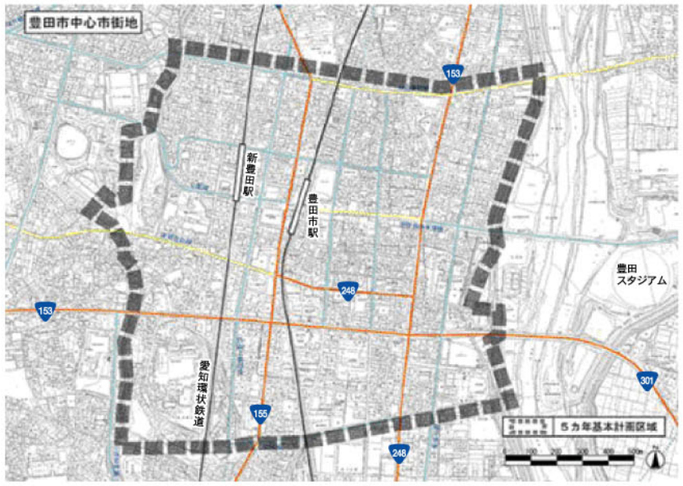
平成18年に「まちづくり三法」の見直しが行われ、「中心市街地の活性化に関する法律」が制定された。
本市は、昭和60年策定の「都心総合整備基本計画」や平成12年策定の「豊田市中心市街地活性化基本計画」、平成14年の「豊田市中心市街地緊急活性化基本計画」による中心市街地の活性化を図ってきたが、市外に立地する大型商業施設等による消費の流出や都市の「顔」が求められていることなどから、長期20年のビジョンを見据えた、新たな中心市街地活性化基本計画の策定を行った。

2 計画期間

平成20年7月～平成25年3月（平成20年7月9日内閣総理大臣認定）

3 中心市街地の区域

中心市街地の区域は、旧基本計画の区域をベースにした「196ha」とする。



4 将来像と目標

将来像　「緑の環境都市軸（スタジアムアベニュー）の創造」

目標１　－活力とにぎわいの創出－「活力」

１－１　商業・業務機能の立地誘導を図り、中心市街地のにぎわいづくりと昼間人口の増大を目指す
１－２　定住化促進支援により「街なか居住」を推進し、夜間人口の増大を目指す
１－３　国際性豊かな市民交流の促進や、文化機能の集積を図り、活力ある中心市街地を目指す

目標２　－公共交通と自動車交通が調和した交通体系の実現－「交通」

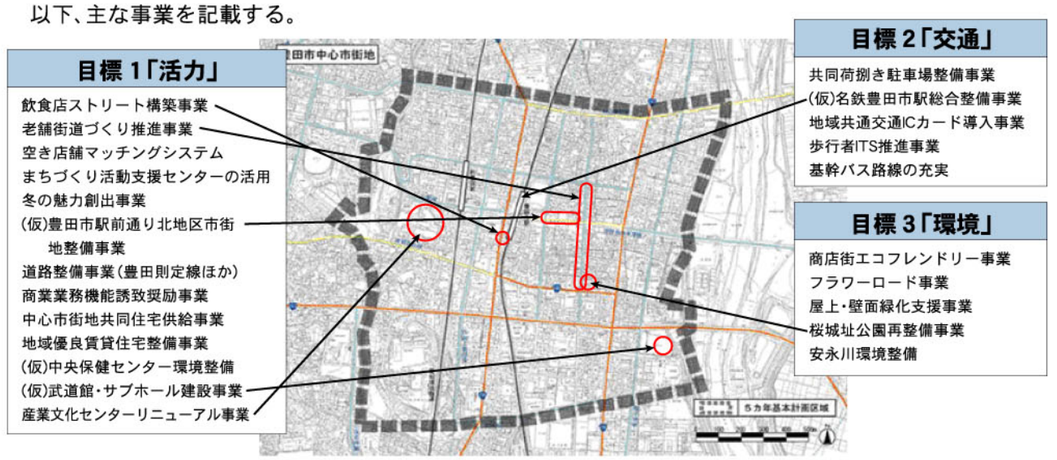
２－１　ITSを活用し、人と車が共存する「かしこい交通社会」の実現により、安全・安心・快適に回遊することができる中心市街地を目指す
２－２　交通結節点整備により乗り継ぎのシームレス化を図るとともに、中心市街地へのアクセス性を向上させ公共交通の利用を促進し交通環境を改善する

目標３　－環境に配慮したまちづくりの実践－「環境」

３－１　景観に優れ、先進的な環境負荷低減モデルとなる中心市街地を目指す
３－２　水と緑のネットワークを創り、人々が自然に親しみながら憩える中心市街地を目指す

5 主な活性化事業

本基本計画においては、5年間で70事業を実施・着手する。
以下、主な事業を記載する。



6 目標達成の把握

本基本計画で掲げる、平成24年度の数値目標は以下の通りである。
各数値目標については、毎年度達成状況の確認をするとともに、状況により目標達成に向けた必要な措置を講じることとする。

目標指標（H24）			
①歩行者通行量	平日	25,788人	⇒ 30,500人
	休日	20,428人	⇒ 25,000人
②中心市街地居住人口		11,542人	⇒ 12,700人
③中心市街地従業者数		15,585人	⇒ 16,600人
④商業核(大型店)年間売上高		20,600百万円	⇒ 25,000百万円
⑤フリーパーキング年間認証台数		274万台	⇒ 330万台
⑥鉄道駅乗降客数		36,827人/日	⇒ 45,300人/日
⑦バス乗降客数		4,882人/日	⇒ 7,300人/日
⑧緑被面積		－	⇒ ＋2,500m^2
⑨年間CO_2削減量		－	⇒ 2,000t

7 中心市街地活性化の推進体制

平成18年10月に豊田商工会議所、豊田まちづくり（株）を中心とした「豊田市中心市街地活性化協議会」（以下「協議会」）が設立されている。協議会は、より多くの市民がまちづくりに参加することを目指し、まちの発展に寄与することを目標とし活動している。また、本基本計画の実効性を高めるため、平成20年4月1日に協議会の実務担当者による「豊田シティセンターマネジメント（TCCM）」を設立し、各事業主体への支援や事業のマネジメント等を行っている。
行政においても「豊田市中心市街地活性化基本計画推進委員会」並びに「プロジェクトチーム」を設立しており、官民連携した取り組みによる中心市街地の活性化を図るものである。

豊田市中心市街地活性化協議会の運営

中心市街地活性化協議会とは、中心市街地に関わる多種多様な関係者で構成された法定組織で、中心市街地活性化に関する事業の総合調整や事業の推進および自治体の策定する「中心市街地活性化基本計画」に対する意見表明・実効性に寄与するなど、まちづくりを総合的に推進する組織として、平成18年8月22日に改正施行された「中心市街地の活性化に関する法律」に基づいて組織される団体。
豊田市中心市街地活性化協議会は愛知県下では初の協議会として平成18年10月10日に設立発会（全国では9番目）し、会長は豊田商工会議所の会頭が歴任中である。

豊田市中心市街地活性化基本計画の変遷	豊田市中心市街地活性化協議会会長
認定：平成20年　7月　9日	豊田商工会議所 会頭　渡辺　祥二（～平成22年12月1日）
変更：平成22年　3月23日	豊田商工会議所 会頭　三宅　英臣（平成22年12月16日～）
変更：平成23年　3月31日	

① 平成22年度の会議等実績

基本計画の進捗状況を把握して意見を述べる本会(全体会)を年度内に３回、役員・幹事合同会議３回、基本計画事業の実施部門である豊田シティセンターマネジメント（TCCM）連絡会議を5回開催し、事業管理とマネジメントに努めた。



② 平成22年度の主な活動

タウンマネージャー・グループを組織して、月2回タウンマネージャー会議を開催することで基本計画事業及び関連する事業の着実な推進に努めた。

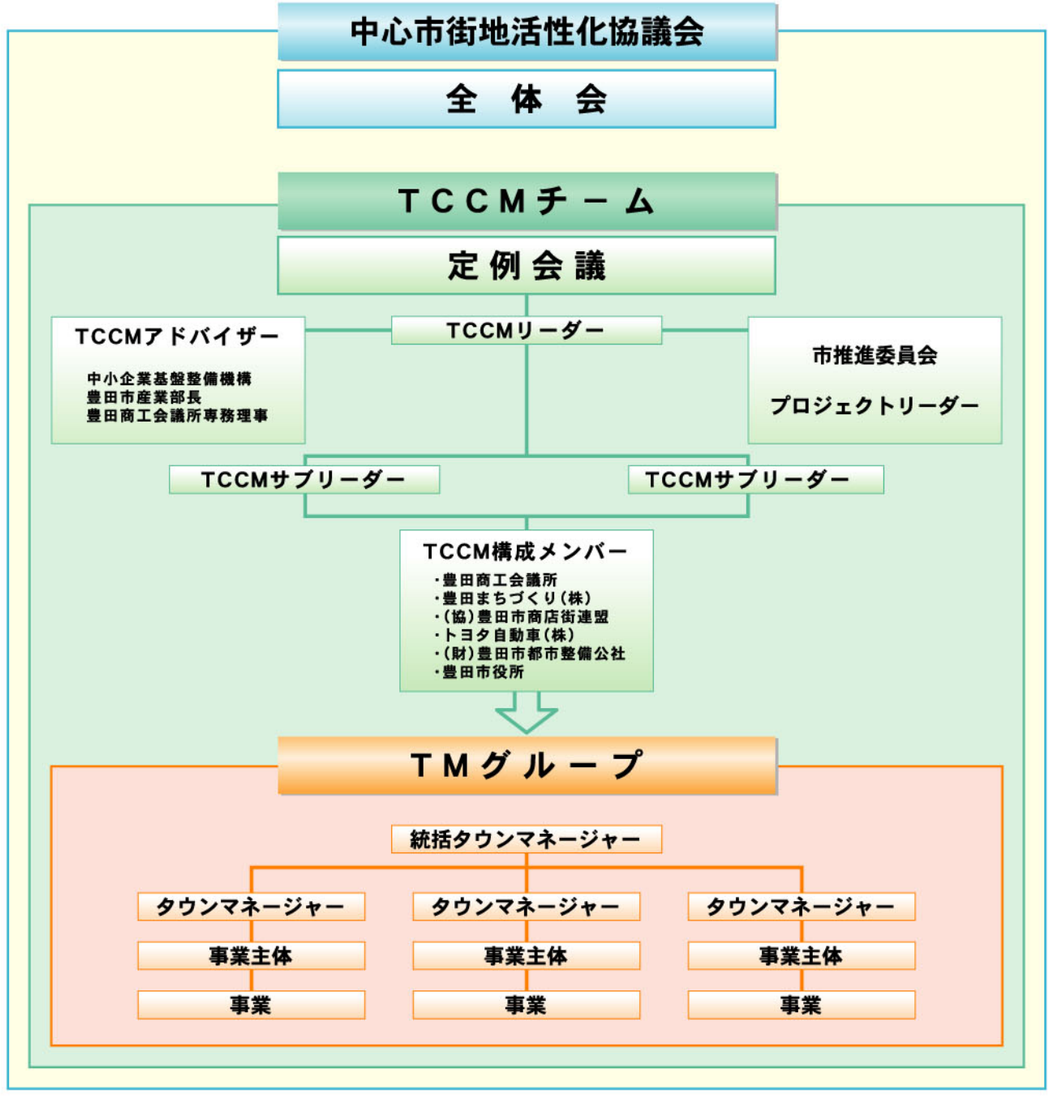
③ 平成23年度に向けて

残り二年となった認定基本計画事業を踏まえて、更なる飛躍に向けた次期計画を見据えた事業の推進に向けて以下の方針で取組む。

◆認定基本計画「民間・官民共働26事業」の包括的推進
◆中心市街地活性化に向け、次の事業の調査研究および取組みの推進
「空き店舗対策」、「事業推進体制」、「活動拠点の運営」、「リーダー人材育成」
◆TCCM・TM会議の定例開催

「平成23年度のTCCM活動方針」

◆協議会の指揮監督のもと、とりわけ民間・官民共働26事業すべての状況を把握し、事業主体と連携しながら事業の推進を図るとともに、「リーダー人材育成」等、将来を見据えた活動を展開する。



豊田市中心市街地活性化協議会

中心市街地まちづくり活動センター(通称:パブリカ)

中心市街地の空き店舗を整備、中心市街地の商業者・居住者のコミュニティスペースとして活用することでまちなかの文化・情報発信機能の拠点として、中心市街地への来訪促進を図ることを目的に平成21年9月に開設した。
今年度は、女性スタッフ2名を雇用し「ブログ・かわら版」による情報の発信、学生等との連携を図ることでまちづくりの活動拠点としての役割を高めている。



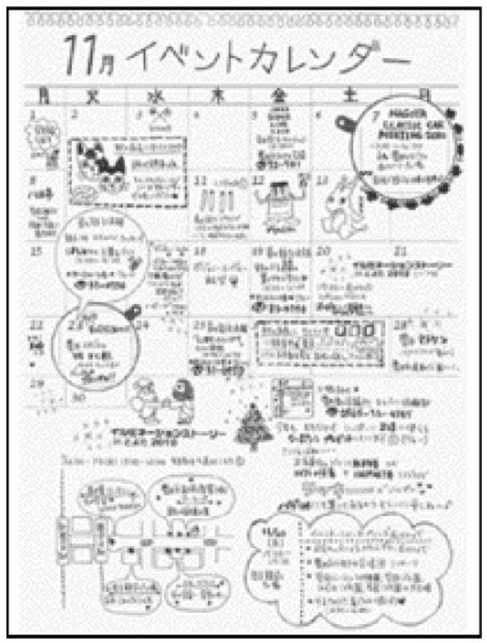
豊田東高生によるシャッターアート



パブリカでの「らくゼミ」開催



かわら版①



かわら版②

豊田市中心市街地活性化協議会

一店逸品運動

挙母のおすすめ品　これ！いいじゃん！

目的

商店街・個店等の活性化、まちのにぎわいづくりの一環として、各店舗独自のサービスや商品をイチ押し(こだわり)の『逸品』として消費者にアピールするまでのプロセスを学ぶため、平成18年より「豊田市一店逸品運動実行委員会」を発足し取り組んでいる。

活動実績

(1)第5回逸品研究会(毎月1回11回開催、9店舗参加)
　平成22年5月～平成23年3月
(2)集団メッセージボード講習会
　平成22年11月25日
(3)第5回挙母の逸品フェア(9店舗対象)
　平成23年3月5日～21日
(4)逸品巡りツアー
　平成23年3月12・13日
(5)逸品お披露目会(場所:T-FACE　私の部屋)
　平成23年3月5日～21日

事業主体

豊田市一店逸品運動実行委員会
http://www.toyota.or.jp/chukatsu/ippin/
((協)豊田市商店街連盟挙母ブロック・豊田市中心市街地まちなか宣伝会議・豊田まちづくり(株)・豊田商工会議所)



挙母の逸品フェア　ちらし



挙母の逸品フェア　宝石メガネ時計　すずき



逸品巡りツアー　一心堂



挙母の逸品フェア　カメラの店　白樺



逸品お披露目会

豊田市中心市街地活性化協議会

らくゼミ

豊田のまちじゅうが教室！

目的

商店街の店主等が専門店の存在や特徴を、広く消費者に向けてＰＲし顧客拡大を図るとともに、各店とお客様との交流による「ファン」づくりをすることで、個店・商店街・中心市街地の賑わいづくりを推進する。

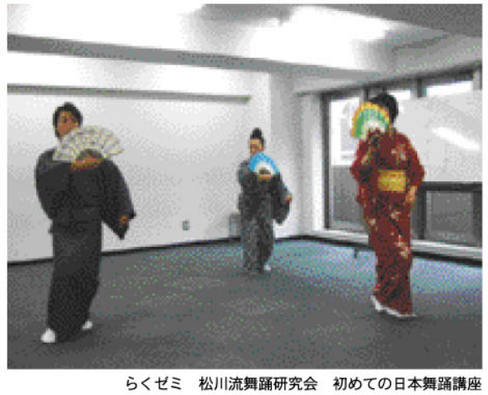
期間

平成23年1月21日～2月20日　（23店舗・23講座・100余名受講）
事業主体　豊田市中心市街地活性化協議会
http://www.toyota.or.jp/rakuzemi/



らくゼミ　チラシ


らくゼミ　お菓子処　三河屋　いが万頭づくり講座


らくゼミ　松川流舞踊研究会　初めての日本舞踊講座

とよた元気プロジェクト

市内消費喚起！地産地消！で豊田を元気に

景気の悪化に伴う沈滞ムードを市民意識の高揚を図ることで一掃し、地産地消の推進、消費喚起による地域経済の活力向上を図ることを目的に平成21年3月に発足。(23年度も事業継続)
23団体（豊田商工会議所をはじめ行政、構成団体、事業所）が連携し、自動車をはじめ地元産品の購入や市内消費拡大に繋がる企画を展開している。

主な取り組み

消費喚起活動、地産地消の推進

■「次世代自動車普及促進事業」推進による自動車購入促進
■豊田市の特産品、名産品の販売促進・PR事業（市内商工会、観光協会、ＪＡあいち豊田等と連携）
■農商工連携に携わる事業所・関係団体との合同事業開催

市内外に向けた豊田市の魅力発信

■「産業フェスタ」地産地消推奨事業の展開

市民意識の高揚

■構成団体が展開するイベント等でののぼり等による市民へのアピール
■市、企業に対し、広報紙・パンフレット等へ趣旨・ロゴマーク等記載依頼







豊田市の取組み

商業機能等配置実行計画（テナントミックス）

豊田市は平成17年度に策定した商業機能等配置実行計画について、平成18年度、見直しを行った。

＜目的＞商業等の魅力化に向け、必要な業態や業種の誘致・店舗配置を図る。

中心市街地商業のめざす方向

中心市街地商業はショッピングモール　《大型店＋商店街》

「自分らしい生活の創造と堪能」に貢献するショッピングモール

魅力づくりの考え方

1	駅周辺に形成されている集客核を基点とする
2	魅力化の契機となる新たな回遊動線を創り、人の流れを生み出す
3	「点から線」「線から面」発想の魅力化整備
4	新たな顧客の吸引（明確なターゲット設定）（リピーター、広域の来街者）
5	商業店舗そのものの魅力化が基本（逸品開発等、商品・サービスの魅力を高める）

魅力化のシナリオ

1. エリア毎に明確なテーマとターゲットを設定し、街並み、商品の魅力により、通（まち）のブランド化を図る。

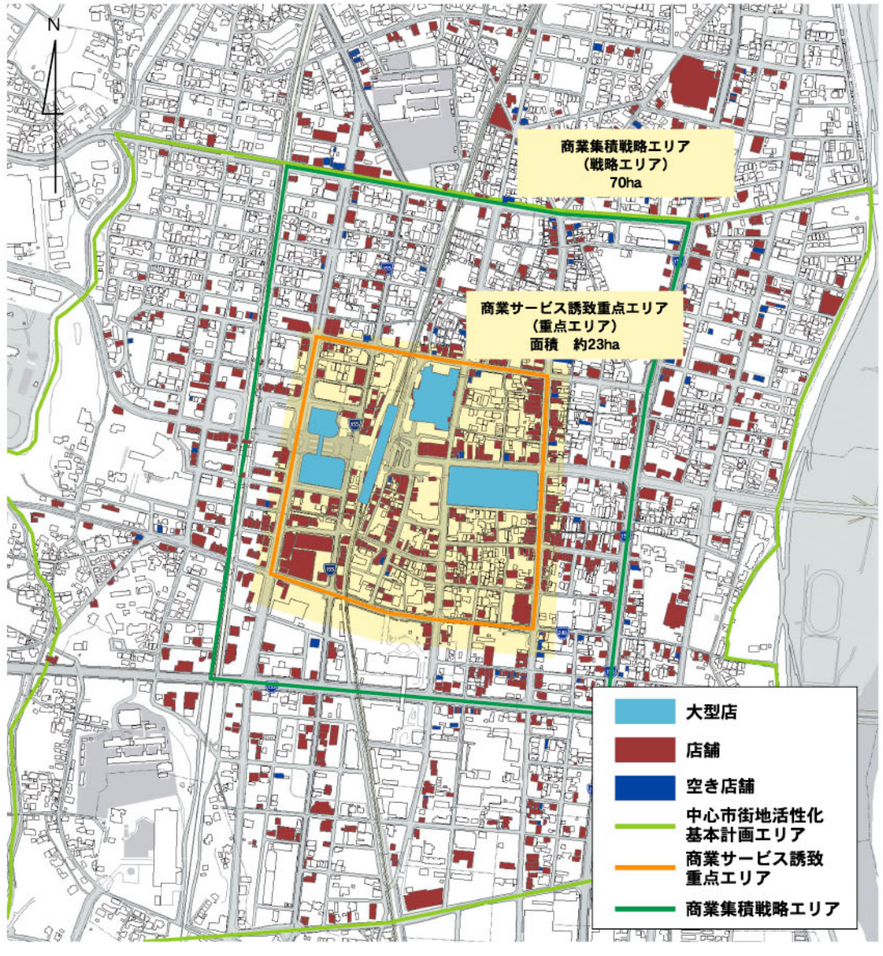
2. 既成集客核（百貨店、ファッションビルなど）、既成商店街、その他のまちの資産を結ぶ「通」「小径」を散策道として整備し、街のネットワークの形成を図る。

3. ブランド化された通（まち）が散策道で結ばれることにより、回遊は「点から線」、「線から面」へと広がりをみせる。

■商業活性化エリア

商業サービス誘致重点エリア（重点エリア）
集客核を含む、回遊可能な範囲（直線距離500m以下/面積23ha）を商業サービス誘致重点エリアとして設定する。まずは、この重点エリアを最優先に「面」として構築し、外への広がり、波及を目指す。広域からの来街目的と成り得る「商業の顔」をつくる。

商業集積戦略エリア（戦略エリア）
地域密着の商業地を目指す。市民のより高質なライフスタイルを支える商業集積地の形成を目指す。（面積70ha）



■豊田市中心市街地の店舗及び空き店舗数

資料：平成22年度豊田市中心市街地商業現況調査／豊田市

		商業サービス誘致重点エリア 23ha	商業集積戦略エリア 70ha	中心市街地活性化基本計画エリア 196ha
営業店舗	大型店	7店	7店	7店
	店舗	343店	659店	1,044店
	計	350店	666店	1,051店
空き店舗		26店	69店	133店

豊田市の取組み

豊田市商業振興条例

豊田市産業部商業観光課

豊田市商業振興条例を制定し、平成17年4月1日に施行した。現在、条例をよりどころとして各種施策を積極的に展開し、豊田市の商業を活性化し、魅力あるまちづくりを目指している。

豊かな市民生活に役立てます

そごう、サティの相次ぐ撤退による中心市街地の空洞化を防ぐため、豊田市中心市街地緊急活性化計画に基づく各種事業を行ってきた。
その結果、大型商業施設の空き店舗はなくなり、またコモ・スクエアという新たな再開発ビルの影響もあって、中心市街地内駐車場利用台数および来街者は増加傾向にある。
今後は、合併により拡大した市全域の商業地に対して、がんばる商店街への支援集中を図り、買物の利便性を高めるとともに、商店街の持つ防犯などのコミュニティ機能を維持し、豊かな市民生活に役立てる。

より効果の高い事業を支援します

条例に基づき、豊田市商業振興委員会を設置している。
委員会では、より効果的な活性化事業を行うため、支援制度の対象となる事業の認定、評価を行うほか、商業環境の変化に対応するため、制度の検討および改廃を随時行っている。

条例による支援制度により商業活性化を推進します

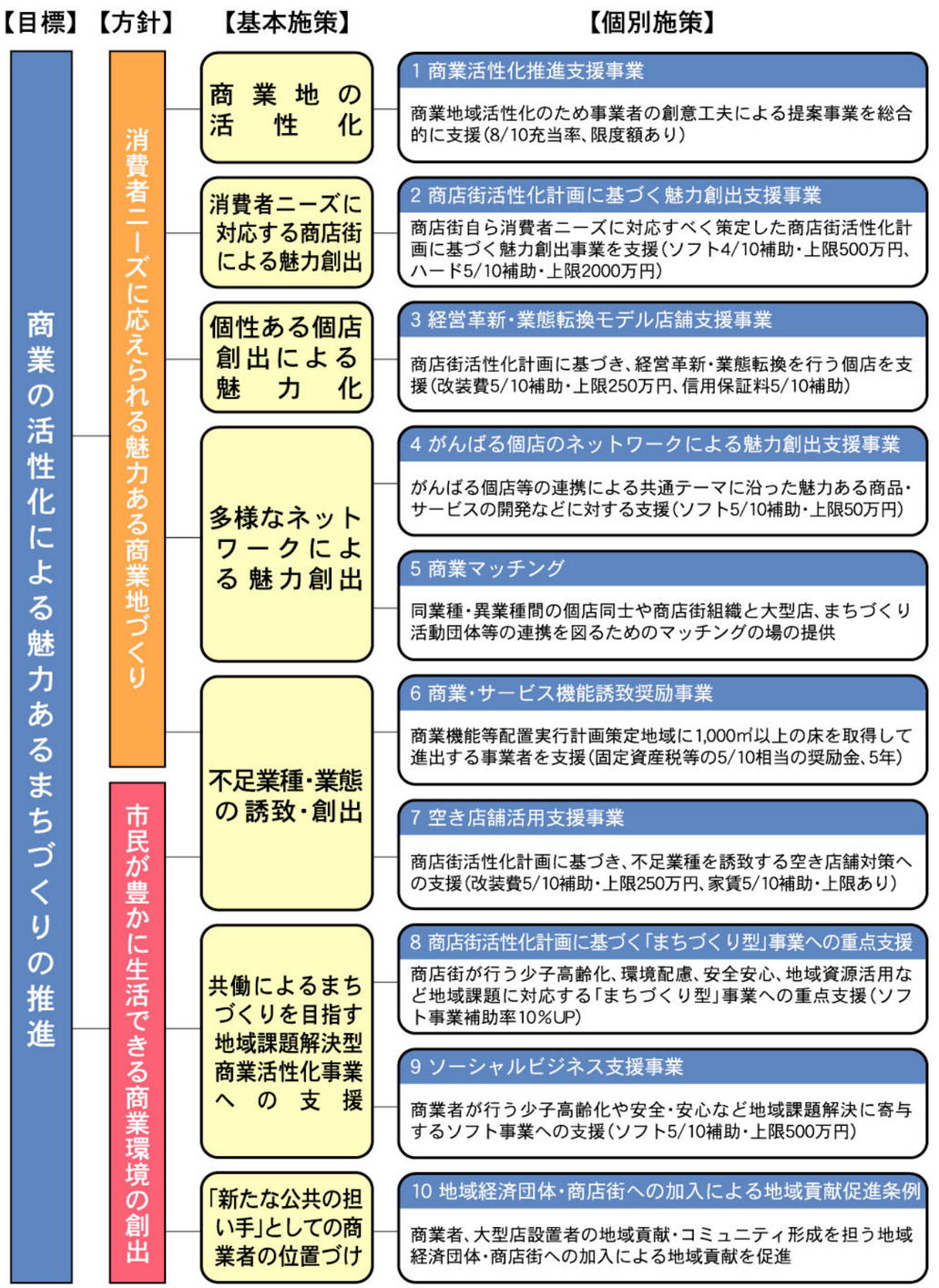
条例により、商業活性化推進交付金および商業・サービス機能誘致奨励金の2つの制度を創設し、商業活性化事業を推進している。

①商業活性化推進交付金
商工会議所、商工会、市等の出資法人が商業地活性化のため計画的に行うソフト事業について、事業費の80%を上限に支援を行っている。
本交付金は、事業者が提案する事業を市が採択するという方式を採用することにより、全市一律の支援を脱して、地域の実情に応じたユニークなアイデアを支援し、事業者のやる気を喚起している。

②商業・サービス機能誘致奨励金
中心市街地および地域商業地において核となる施設を誘致し、計画的にまちづくりを進めていく必要が発生した場合、消費者および地域住民のニーズを踏まえ、商業機能等配置実行計画を策定する。
この計画に定められた業種で1,000㎡以上の規模である事業者が進出した場合に、固定資産税、都市計画税、事業所税相当の奨励金を支出し、核施設の進出を促進する。

市・地域経済団体（商工会議所・商工会）・商店街・商業者・事業者（大型店関係者）が連携し、商業活動の振興及び地域貢献活動を推進します。

①市は、国、県、地域経済団体その他関係機関と連携して、商業振興のための施策を実施する。
②地域経済団体は、商業者の創出及び育成、商業者の事業活動に対する支援並びに消費者に支持される商店及び商店街づくりとともに、市と協力してその他の商業振興策を実施し地域社会への貢献に努める。
③商店街は、商店街の活性化及び地域貢献事業の実施、組合員相互の連携強化、組織の充実に努める。
④商業者は、良質な商品、サービスの安定した供給と経営基盤の強化を図るとともに、地域経済団体及び商店街への加入に努め、商業振興施策及び地域貢献事業に協力する。
⑤大型店事業者は、地域経済団体及び商店街への加入に努め、商業振興施策及び地域貢献事業に協力するとともに、テナントに対しても同様の責務を果たすように周知し、あわせて周辺の生活環境の保持のため、施設配置及び運営方法に配慮する。



豊田市の取組み

商業活性化推進交付金による事業の数々

豊田まちづくり(株)

1. 商業活性化推進交付金(商業振興条例)とは

平成16年度から豊田市は、商業の自立的な取り組みを支援するために商業振興条例を施行し、そのなかで「事業者の創意工夫による総合的かつ機動的な活性化事業を支援することにより商業の活性化に資する目的」で商業活性化交付金事業を設定した。

2. 豊田まちづくり(株)商業活性化推進交付金事業第2期3ヵ年計画の基本方針

広域の市民が交流する、中心市街地を一つのショッピングモールとして捉え、次の事業を推進する。

●テナントミックスの推進と創業者育成による商業の活性化
●中心市街地への来街促進と魅力の発信
●商業活性化を支える環境整備　●来街者へのおもてなし　●まちづくり活動の支援

≪第Ⅱ期(H20～H22)　商業活性化推進交付金事業3ヵ年計画≫

■は、商業活性化交付金を活用し、豊田まちづくり(株)が地域の皆様と取り組んでいる事業です。

事業の方針		事業名／事業の考え方		事業効果
中心市街地の活性化	商業の活性化 テナントミックス事業	大型店の魅力化	■中心市街地ショッピングモール化推進事業 ・大型店の不足業種業態の具体的な誘致策を構築 ・中心市街地の回遊性向上をめざした商業環境整備 ・消費者ニーズを捉えるマーケティング調査の実施	・魅力ある商業集積への転換 ・中心市街地大型店、商店街等をショッピングモールとして捉え、広域の消費者に対応する商業集積への転換をはかる
	商業の活性化 テナントミックス事業	商業ゾーンの構築 商店街の活性化	■特色あるストリートづくり/空き店舗再生事業 ・飲食店ストリートの構築(中活事業)　・老舗街道の支援(中活事業)　・各商店街活性化計画事業の支援　・空き店舗再生マッチングシステム構築　・中活事業との関連業務の推進(西桜町商業集積など)	
	商業の活性化 チャレンジショップ事業	チャレンジショップ事業の充実	■チャレンジショップ(創業者創出)事業 ・チャレンジショップによる新規創業者の支援育成 ・チャレンジショップ卒業者の中心市街地への出店支援 ・チャレンジショップの移転と新チャレンジショップの展開	・創業者の育成支援 ・話題性のある商業空間の創出
	来街促進と魅力発信 イベント事業	賑わいの創出	■ジョイカルウェイブ事業 ・若者文化の創出による賑わいの創出と展開 ◇地域・商店街との共働イベント事業 ・商店街、広域地域、各団体との共働支援事業による賑わい性の向上と地域コミュニティの創出	・中心市街地の賑わい性の創出 ・中心市街地への来街者の促進 ・中心市街地団体・事業者等共同の活性化事業
	来街促進と魅力発信 イベント事業	集客イベントの開催	■まちなか宣伝会議『まちパワーフェスタ』事業(中活事業) ・中心市街地まちなか宣伝会議の核事業としてコンテンツの充実とセールスプロモーションの展開(構成メンバーのメリットの確保)	
	来街促進と魅力発信 情報発信事業	中心市街地の情報発信	■まちなか宣伝会議『情報発信事業』(中活事業) ・中心市街地の店舗および施設の営業情報、イベント情報、魅力の発信 ◇まちなか情報の一元化 ◇中心市街地商業サービスのCIとイメージづくり	・まちの魅力・話題の紹介、発信 ・官民一体となった中心市街地の情報発信
	商業活性化を支える 環境整備 環境向上基盤整備事業	中心市街地の基盤整備	★地域とのまちづくり活動事業 (まちづくり交付金　まちづくり活動支援委託) ・中心市街地各自治区のまちづくり協議会などの活動の支援	・快適な公共空間の創出 ・地域と一体となったまちづくりの推進
	商業活性化を支える 環境整備 環境向上基盤整備事業	中心市街地の環境向上	■環境向上・環境負荷低減等の事業(中活事業) ・都市景観の向上および再開発ビルの屋上緑化などに関する事業の検討と実施 ※中心市街地ショッピングモール化推進事業で検討 ・まちなかの清掃活動の実施	・商業活性化に向けた、商業環境の整備・充実
	来街者へのおもてなし事業 おもてなし事業	商業活性化を支えるソフト事業の実施	■レンタサイクル事業 ・回遊利便性向上による来街者へのおもてなしの実施 ■ショッピングカート共同利用事業(中活事業) ・共同ショッピングカートによるショッピングモール機能の付加と商店街エリアへの拡大の検討	・中心市街地の利便性向上による来街促進 ・まちなか共同事業
	来街者へのおもてなし事業 駐車場一体管理事業	フリーパーキングシステムの充実	■フリーパーキング事業 ・アクセス利便性向上による来街促進(利用者数の増加)と加盟店舗の拡大、円滑な事業の実施運営 ■飲むならパーキング事業 ・新たな駐車場機能の付加による利便性の向上	
	まちづくり活動支援 コミュニティ創出事業	まちなか交流拠点の創出	■まちなかサロン事業(中活事業) ・地域コミュニティの交流拠点となるサロンの設置の検討と事業の実施 ・地域の音楽、芸術などの文化の発信 ※特色ある個店づくり/空き店舗再生事業と連携	・地域コミュニティ拠点の創出 ・文化などの発信
	まちづくり活動支援 まちづくり人材の育成活動支援	まちづくり人材の能力開発、活動をサポート	■中心市街地のまちづくり活動支援 ・ITS先進都市「豊田市」のまちづくりの推進 ・まちづくり活動の発信、啓発、支援 ・「中心市街地活性化に向けた活動記録」の作成	・まちづくり専門人材の育成 ・活動の活発化

まちなか宣伝会議事業

3. 商業活性化推進交付金事業の目標指標(第Ⅱ期 H20～H22)

目標指標	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度	目標値	達成率(H22/目標値)	備 考
歩行者通行量(単位:人)	51,850	58,944	51,042	51,571	54,484	94.7%	※豊田市駅東西ペデストリアンデッキ1日平均通行量(双方向)
大型店売上高(単位:百万円)	19,962	18,611	16,365	16,286	20,933	77.8%	※中心市街地大型店の売上
駐車場利用台数(単位:千台)	3,839	3,784	3,702	3,724	3,956	94.1%	※フリーパーキング加盟駐車場利用台数

平成20～22年年度(3カ年)事業内容

①大型店テナントミックス研究会による事業の推進　第Ⅲ期継続
(松坂屋、T-FACE、GAZA、セントレ、名鉄産業)
②大型店の不足業種・業態テナント誘致のための具体的戦略の構築
③核ゾーンと周辺商店街間の回遊環境整備事業の実施
⇒ H21～　共同BGM運用開始。 ⇒　H22.8　EXILEコラボキャンペーン実施。
④核ゾーンの定期マーケティング調査
※H14テナントミックスビジョン策定業務から事業発展。H17から交付金事業として研究会を随時開催。





①商店街活性化計画策定商店街への事業推進支援　第Ⅲ期継続
②商業ゾーンの構築推進支援(飲食店ストリート構築、西桜町商業集積の検討)
③空き店舗再生／商業等配置実行計画の事業内容の検討
(老舗街道、テナントミックス、空き店舗マッチング、まちなかサロン設置などプラン作成)
※H18からH21まで、交付金事業として事業実施。H22実施なし。





①新規出店者募集強化、宣伝広告　②出店者育成、研修実施　補助金事業へ変更
③施設の保守、管理、修繕、店舗装飾　④集客イベントの実施
⑤新チャレンジショップ移転プラン作成
※H21からチャレンジショップを移転、運用開始。
※チャレンジショップ事業は、H14.11から事業開始。H17～20まで交付金事業として実施。

①ジョイカルウェイブ　トヨタロックフェスティバルの開催　第Ⅲ期継続
・音楽イベントの開催　・アート、文化等の若者文化活動の支援(クリエイターズマーケットなど)
⇒ H19～　毎年秋開催。
⇒ H22　まちパワーフェスタMINIの開催。共同企画イベントの実施など。
※ジョイカルウェイブ事業は、H4から事業開始。H20から交付金事業として展開。





①まちなか宣伝会議の開催　⇒ H15.8～　毎月第1金曜日開催。　第Ⅲ期継続
②『まちパワーフェスタ』開催　⇒ H16.3～　毎年秋・春開催。
③『まちパワーフェスタMINI』開催　⇒ H22.6～　年4回程度開催。
※まちなかの活動や与件に関して積極的な連携を図り、イメージUPと情報の一元化を図る。
※まちなか宣伝会議事業(情報発信事業を含む)は、H17から交付金事業として展開。

①とよたまちなかガイドブック(情報誌)の発行　⇒ H17.9～　毎年発行。　第Ⅲ期継続
②とよたまちなかWeb(PC版)、とよたまちナビ(携帯電話版)の管理運用　⇒ H17.9～　Web開始。
③まちなかVisual Identity発信　⇒ H21　とよた元気プロジェクト関連装飾など。
④まちなか情報の一元化　⇒ H22～　まちなか情報ボードの設置・運用開始など。
⑤まちなかCity Identity検討と展開 ⇒ H21　とよた元気プロジェクト連動企画実施など。





①まちづくり協議会等の地域住民のまちづくり活動の支援　まちづくり交付金事業
⇒ H20.21　桜町地区、竹生線沿線4自治区、西町地区などの当該地区における整備計画づくりおよび活動の支援を実施。
⇒ H22　竹生線沿線4自治区まちづくり協議会等の活動支援(打ち水イベントなど)。
※H17からH22まで、まちづくり交付金事業「まちづくり活動支援委託」の中で実施。

第Ⅲ期継続
①豊田市駅西口再開発ビルの屋上緑化の検討および実施
※H20から豊田まちづくり㈱内の検討会を実施。(交付金負担なし)
②まちなかクリーンアップ事業の実施
※H20から大型店テナントミックス研究会にて検討および清掃活動を実施。(交付金負担なし)





① レンタサイクル事業　⇒ H15.9～　運用開始。※H20.4から交付金事業。　第Ⅲ期継続
・円滑な日常運用管理と保守　・利用者調査の実施
・パンフレットなどによるPR活動　・新ステーションの設置など
②ショッピングカート共同利用事業　⇒ H17.5～　交付金事業として運用開始。
・円滑な日常管理と保守　・利用範囲、種類、台数の拡大の検討　・利用者調査



①フリーパーキング事業　⇒ H15.4～　運用開始。※H17から交付金事業。　第Ⅲ期継続
・FP加盟店の増加に向けた認証ライター貸出費補助
・利用者、新規加盟店への案内用PR物作成　・円滑な日常管理運営・Webサイト更新(H22～)
②飲むならパーキング事業　⇒ H19.12～　運用開始。※H20から交付金事業。
・利用者拡大　・FP加盟店への参加協力要請

①まちなかサロン事業(まちなかサロンの設置運営)　中心市街地活性化協議会で管理運営
・設置場所、設計プランの検討
・事業内容の検討とプラン作成
(機能、活用方法、管理運用方法、収支等の事業化に向けた内容の検討)
・運用開始準備(広報、PR、運用スタッフなど)
⇒ H21.10～　パブリカ(まちづくり活動センター)設置、運用開始。

第Ⅲ期継続
まちづくり活動支援・人材育成事業
①まちづくり記録・PR　「中心市街地活性化の歩み」作成
⇒ H17.5～　交付金事業として発行開始。

豊田市の取組み

ハイブリッド・シティとよた

環境モデル都市とは

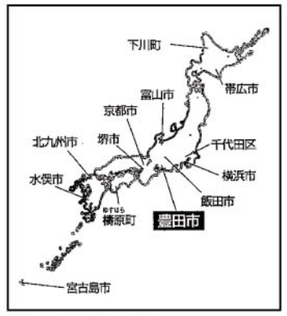
豊田市は平成21年1月23日、東海地方で唯一『環境モデル都市』として国から選定された。これを機に、厳しい経済状況の中、「環境」を経済再建の鍵として元気なまちづくりを市民の皆さんとともに進めていく。



環境モデル都市とは、世界の先例となる低炭素社会(※)への転換を進め、国際社会を先導していくという方針に基づき、温室効果ガス排出の大幅な削減など低炭素社会の実現に向け、高い目標を掲げて先駆的な取組にチャレンジする都市として国から選定された都市。また、取組の実施に当たり、国から財政的支援などが優先的かつ重点的に受けることができる。

(※)低炭素社会／温室効果ガス排出量を大幅に削減し、地球温暖化の危機から脱却した社会

低炭素社会の実現に向け先駆的にチャレンジする全国82の提案の中から、豊田市をはじめ13都市が環境モデル都市に選ばれている。



環境モデル都市13都市(平成21年4月1日時点)

環境モデル都市(13市)

都市規模	自治体名
大都市	京都市、堺市、横浜市、北九州市
地方中心都市	飯田市、豊田市、帯広市、富山市
小規模市町村	檮原町(高知県)、宮古島市、下川町(北海道)、水俣市
東京特別区	千代田区

ハイブリッド・シティとよた

ハイブリッドとは、“異質のものが混ざり合い形成されたもの”という意味の英単語。これは異質の要素や独立した技術を融合することで、新たな価値、新たな仕組みを創出していこうという考え方を表現したものである。
またこの言葉は、トヨタ自動車(株)が世界に先駆けて販売したハイブリッドカーにちなんでおり、豊田市を連想させるキーワードとして全国に情報発信する。

ハイブリッド・シティ 環境モデル都市 とよた

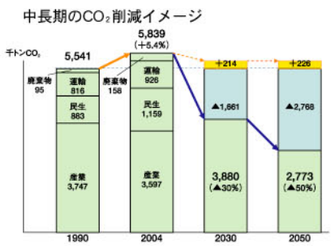
豊田市の現状と目標

豊田市のCO_2排出量は、1990年度では5,541千トンであり、2004年度には5.4%増加して5,839千トンとなっている。特徴としては、産業部門のCO_2排出量が全体の6割を占めており、全国割合36.3%と比べ非常に高く、また高い自動車依存度により運輸部門のCO_2排出量が多いことが挙げられる。
そのようなことから豊田市は、本市の特徴と強みを発揮し得る交通、産業、森林での重点的な取組を前提に目標を設定した。

二酸化炭素削減目標	長期目標(2050年)　必達50%削減、チャレンジ70%削減 中期目標(2030年)　必達30%削減、チャレンジ50%削減

削減率はいずれも1990年度比

中長期のCO_2削減イメージ



環境モデル都市アクションプランの主な取組

豊田市の特徴・強みである「交通」「産業」「森林」の3つの分野の取組を柱に、「都心」を先進環境技術の集約の場・国内外への情報発信の場として、見える化を図り、「民生」の取組を各分野の支えとして位置付け、活力ある低炭素社会を目指す。



低炭素社会モデル地区の推進

豊田市は世界に先駆けて低炭素社会を実現するとともに、低炭素技術を活用した新たな産業により活気あふれ、活力に満ちた健康的な市民生活を実現するスマートコミュニティ(※)を都心においてモデル的に整備する。低炭素社会モデル地区は最先端の低炭素化技術により、誰もが将来の低炭素社会におけるライフスタイルを体感する場であり、地元企業が低炭素化技術を基にした新たな経済活動や産業を誘発する拠点である。このモデル地区での取組みを通して新たなまちづくりとして展開していく。

(※)電力の流れを供給・需要の双方から制御し、最適化する送電網を「スマートグリッド(次世代送電網)」という。この「スマートグリッド」を活用しながら、市民生活を次世代へ持続させるまちづくりを「スマートコミュニティ」という。

東山・高橋地区における スマートコミュニティ実証実験

国の「環境モデル都市」として選定された豊田市と共に、自動車・エネルギー・住宅・交通・流通など、関係分野の先進企業・団体が協力して、次世代の低炭素エネルギー・社会システムの構築に向けた実証活動を進めている。
生活者の行動動線に沿って、暮らしの核となる「家庭内」から「移動」「移動先」、更にそれらを統合した「生活圏全体」を捉えて、社会全体でのエネルギー利用の最適化を目指す。

低炭素社会モデル地区の主な目的

① 豊田市が目指す低炭素社会の方向性の明示と現実のまちづくりへの展開
② 最先端の低炭素技術の実感による低炭素社会の早期実現
③ 低炭素技術を核とした新たな産業の育成と市内の中小企業の活性化
④ 最先端技術・地元企業のアイディアの商品化・実用化による国際競争力強化と豊田市の成長を図る

低炭素社会モデル地区で実施する具体的な取組みの例

① 低炭素化に効果的なインフラの実験的整備
⇒植栽配置、ヒートアイランド対策、蓄電、送エネルギー等の新技術を導入し、評価
② 新エネルギー・新技術の積極的活用と効果の検証
⇒自然エネルギー、熱、振動等様々な低炭素エネルギーを整備
⇒まちのサイズ、生活様式に応じて効果的・効率的なエネルギーの探索と利用方策を実証
③ 日常生活における低炭素化の実現
⇒低炭素な暮らしの実証から、製品化の実現
④ 民間の収益事業活力を核とした運営方法の導入
⇒地元企業の育成、製品化、販路確保による収益事業の確立
⇒商業・アミューズメント機能の整備による収益性の確保
⇒官民連携型のビジネスモデルの構築
⑤ 市民や企業が技術研究・開発の効果を理解しやすくする取組みづくり
⇒技術の見える化の標準化、認知度の向上、新たなビジネス拠点

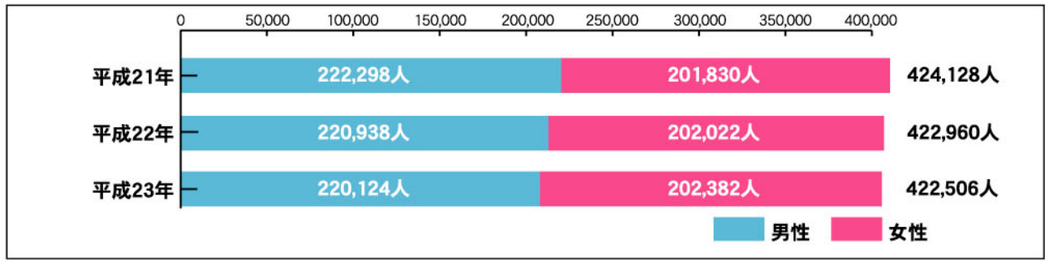
資料

豊田市データ

豊田市の市勢データ

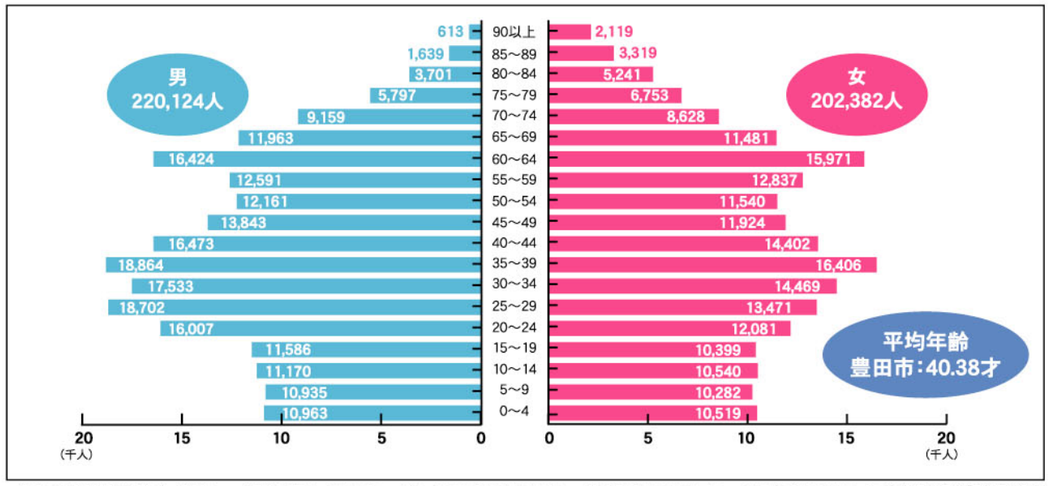
豊田市の人口推移

出典：豊田市HP「豊田市の人口」（詳細データ）（平成23年度4/1現在）



豊田市年齢別・男女別人口

出典：豊田市HP「豊田市の今月の人口」（平成23年4/1現在）



＜市町村別平均年齢＞　愛知県：43.0才　名古屋市：43.8才　豊橋市：43.2才　岡崎市：41.8才

出典：愛知県HP「愛知県の人口」（平成23年1/1現在）

豊田市の昼間人口・夜間人口の推移

出典：平成20年度版 豊田市統計書

区分	平成7年			平成12年			平成17年		
	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者	総数	通勤者	通学者
昼間人口	356,583	199,632	…	375,298	211,391	56,482	445,252	253,617	57,408
夜間人口	340,876	185,434	…	350,847	189,313	54,109	408,700	218,366	56,107

愛知県主要都市との人口比較

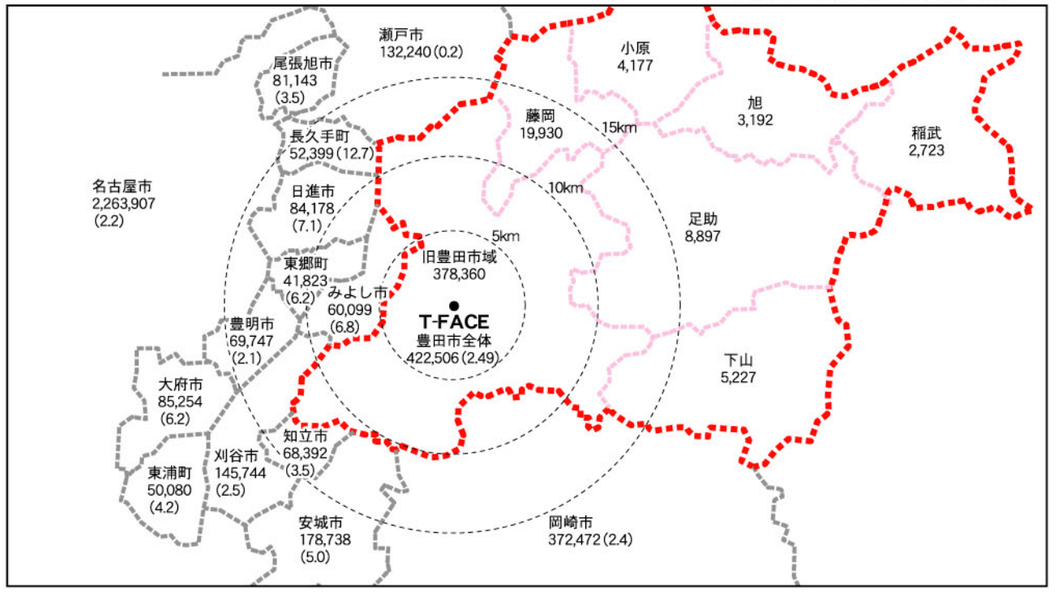
出典：愛知県HP Web統計あいち
平成22年国勢調査結果速報

出典：愛知県HP Web統計あいち
愛知県の市町村民所得
（平成20年度）統計表

	人口（人）	5年間の伸長率（%）	世帯数（世帯）	1世帯あたり人員（人）	1人あたりの所得（千円）
豊田市	421,552	+2.3	162,037	2.60	4,553
名古屋市	2,263,907	+2.2	1,021,302	2.22	3,320
豊橋市	376,861	+1.2	141,234	2.67	2,919
岡崎市	372,472	+2.4	138,212	2.69	3,464

商圏の設定

単位：人、（　）内数字は５年間の人口増加率％



出典：豊田市→豊田市HP「豊田市の人口」（平成23年4/1現在）
その他→愛知県HP 平成22年国勢調査結果速報

＜5km圏内＞（車で10分以内）

	人口	5年間伸長率
豊田市中心	約22.0万人	（4.0%）

＜10km圏内＞（車で20分以内）

	人口	5年間伸長率
豊田市（旧）	約37.9万人	（3.8%）
みよし市	約6.0万人	（10.3%）
東郷町	約4.2万人	（8.5%）
日進市	約8.4万人	（10.1%）
岡崎市一部	約5.4万人	（5.2%）
合計	約61.9万人	（約5.2%）

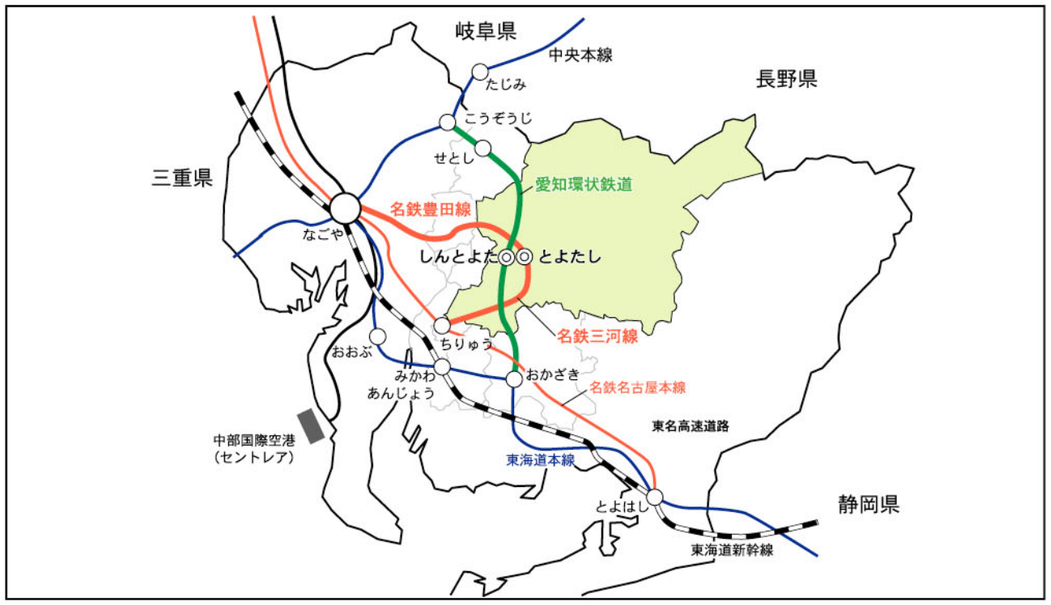
※平成17年4月に周辺市町村を合併し、愛知県で名古屋市に次いで人口が2番目の都市となった。
面積は918.47㎢と約3倍となったが、人口のほとんどが旧豊田市域の居住者である。

資料

交通アクセス

名古屋都市圏に隣接する豊田市は、西三河地域の中心に位置し、中核都市として独立商圏を形成している。

鉄道



＜近隣からのアクセス＞

■名古屋鉄道

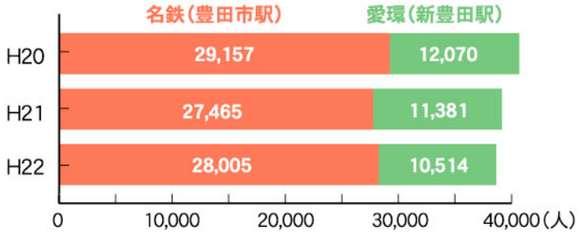
名古屋	⇒⇒⇒ 740円	豊田市駅	60分
知立	⇒⇒⇒ 390円	豊田市駅	25分

■愛知環状鉄道

岡崎	⇒⇒⇒ 490円	新豊田駅	30分
瀬戸市	⇒⇒⇒ 490円	新豊田駅	30分

＜1日の平均乗降客数＞

出典：豊田市統計書（平成21年度版）



※特に朝夕の通勤ラッシュ時は2つの駅をつなぐペデストリアンデッキの往来が多くなる。

●名鉄線の2線（豊田線・三河線）は都市間交通手段として利用されている。特に周辺地域のベッドタウン化による利用者の増加により運行本数の増加、始発・最終電車の延長サービスが図られている。

●2005年愛知万博開催に伴い、八草駅と名古屋市の藤が丘をつなぐ東部丘陵線（リニモ）が開通した。

●愛知環状鉄道は平成20年3月より新豊田－三河豊田間で複線化となり通勤通学を中心とした乗降客数が増加している。

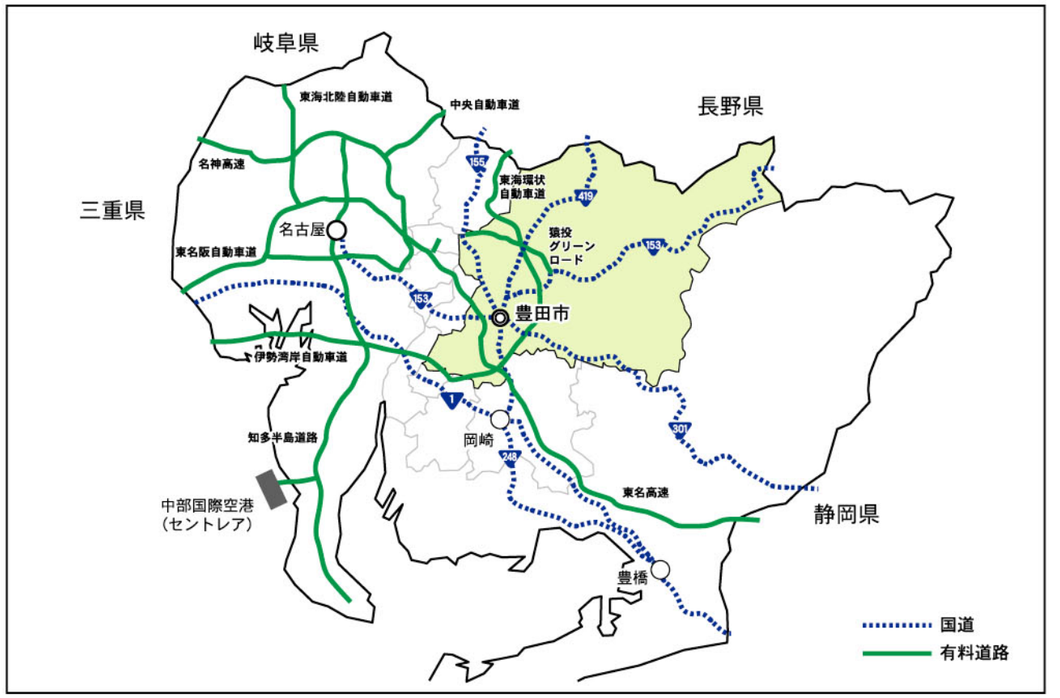
バス

●名鉄バスが、豊田市駅東西ターミナルより発着し、中心市街地から周辺部へ運行している。
1日約5,000人の人が豊田市郊外の交通手段として利用している。

●平成19年より豊田市基幹バス「おいでんバス」の運行が始まり、豊田市駅と旭、稲武、小原、下山、藤岡、足助地区を結ぶ路線となっている。

●豊田市内及び豊田市駅と栄、伏見、名古屋駅を結ぶ都市間高速バスの運行では、鉄道路線よりも安値で行くことが可能となっている。

道路交通

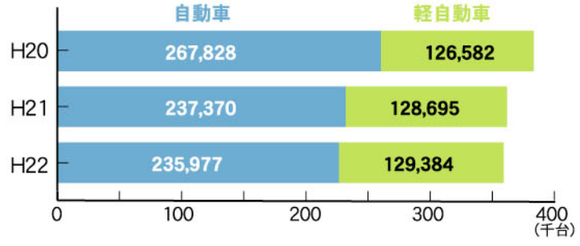


＜近隣からのアクセス＞

名古屋	⇒⇒⇒ 29km	豊田	60分
豊橋	⇒⇒⇒ 47km	豊田	100分
岡崎	⇒⇒⇒ 17km	豊田	40分

＜自動車・軽自動車登録台数の推移＞

出典：豊田市統計書（平成21年度版）



●近年第2東名、東海環状道路の整備により、市内に17のIC、3つのSA、PA、2つのJCTが存在する県内有数の交通拠点になりつつある。

資料

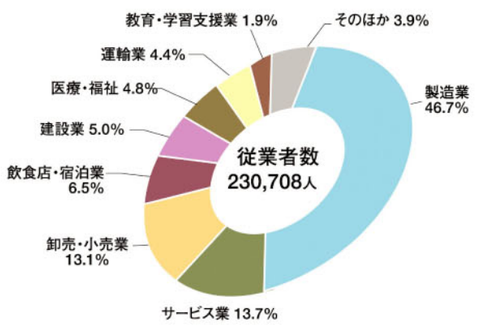
豊田市の産業

豊田市　市勢ガイド2011より

平成18年の事業所統計調査（合併前7市町村の数値を合算）による産業別就業者数の割合は、第2次産業（製造業、建設業等）が51.7％、第3次産業（卸・小売・サービス業等）が44.4％を占めている。

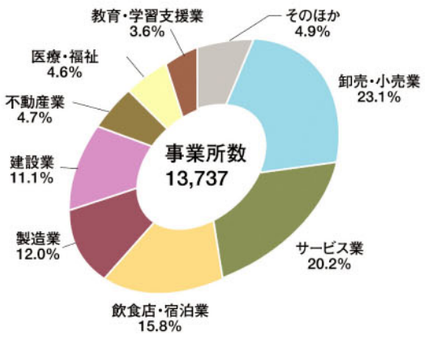
産業大分類別従業者数構成比

（平成18年10月1日現在・事業所・企業統計調査）〔民営事業所〕



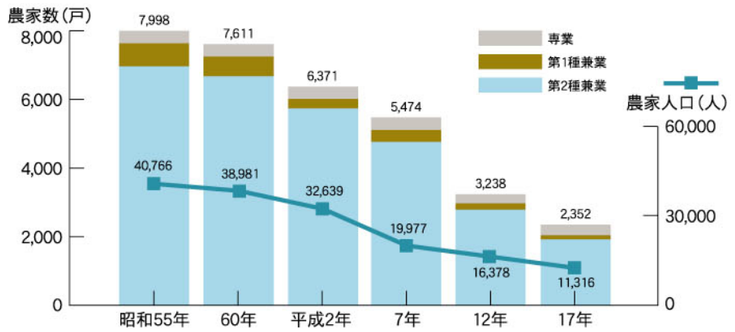
産業大分類別事業所数構成比

（平成18年10月1日現在・事業所・企業統計調査）〔民営事業所〕



農家数・農家人口の推移

（各年2月1日現在・農業センサス）



商店数・従業者数・年間商品販売額の推移

（豊田市統計書）

年次	商店数	従業者数（人）	年間商品販売額（万円）
平成9年	3,129	23,100	164,019,263
平成14年	2,799	25,256	149,030,179
平成16年	2,685	24,176	154,605,992
平成19年	2,873	26,725	164,520,883

工場数・従業者数・製造品出荷額等の推移

（「豊田市の工業（工業統計調査結果報告書）」より、従業者4人未満含む）

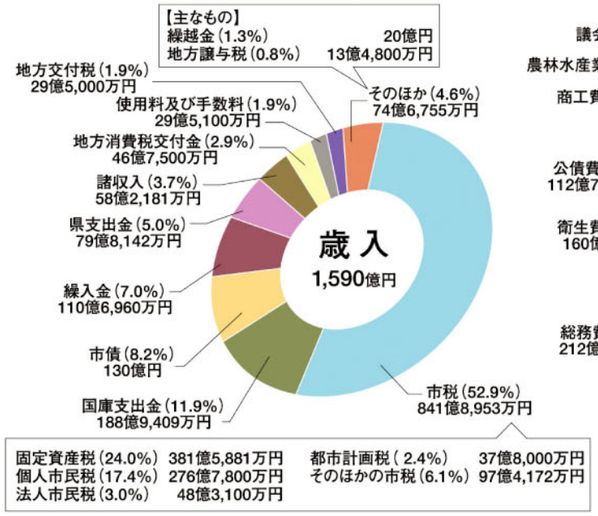
年次	工場数	従業者数（人）	製造品出荷額等（万円）
平成16年	1,184	90,293	976,027,658
平成17年	1,398	100,096	1,104,328,144
平成18年	1,406	105,996	1,260,083,934
平成19年	1,392	110,240	1,324,801,015
平成20年	1,345	108,940	1,305,892,175

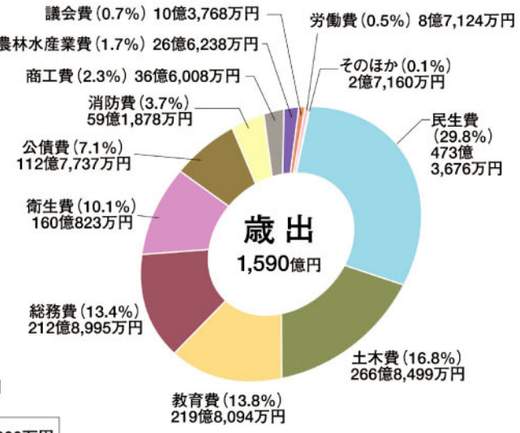
資料

豊田市の財政

平成23年度当初予算

一般会計　**1,590億円（前年比2.2％増）**





総　額
2,441億8,355万円
（前年比3.7％増）

特別会計　569億4,682万円（前年比11.3％減）

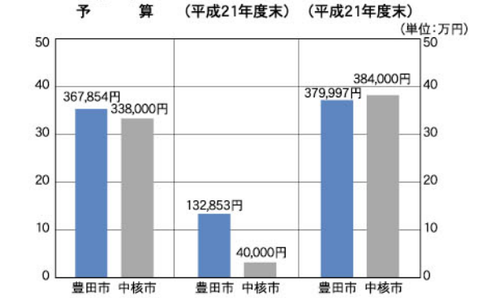
国民健康保険		322億4,869万円
食肉センター		3億914万円
土地区画整理	土橋	28億7,864万円
	寺部	3億4,121万円
	花園	1億6,047万円
分譲住宅建設		5,909万円
公共下水道		—
卸売市場		3億2,033万円
老人保健		—
農業集落排水		—
水道水源保全		4,690万円
母子寡婦福祉資金貸付		2,376万円
介護保険		162億3,818万円
財産区	盛岡	773万円
	賀茂	941万円
簡易水道		12億7,521万円
後期高齢者医療		30億2,800万円

水道・下水道事業会計

水道事業会計	収入	111億7,659万円
	支出	145億2,377万円
下水道事業会計	収入	103億5,230万円
	支出	137億1,295万円

他の自治体（中核市）との比較（市民一人あたり）

「予算」「基金残高」「市債残高」の市民一人あたりのお金を同等規模の自治体（中核市）平均と比べてみると……



※市財政課調べ、平成22年2月1日現在の人口をもとに算出、いずれも一般会計ベース

資料

周辺商業施設概要

大規模店舗（平成22年現在）

豊田市の近郊は、人口の著しい増加や、15～64才の生産年齢人口比率が全国平均より高いことなどを理由に、優良マーケットと考えられている。そのため中小店と大型店、中心部と郊外がそれぞれの役割を担い、すみわけを進めている。

大規模店舗施設概要

商圏内（半径5㎞）直接大規模店舗

コモ・スクエア 豊田市喜多町/建築延床面積約60,200㎡/駐車場250台

2棟のビルで構成され、1棟は豊田キャッスルホテル、大型スポーツ施設、オフィスで構成。もう1棟は飲食店、美容サービスを中心とした店舗で構成されている。平成20年には住居棟も完成し、豊田市中心市街地の昼間人口増に寄与している。

メグリアセントレ＋GAZA CSC/豊田市喜多町/売り場面積約15,000㎡/駐車場1,544台

ヤングファミリーターゲット。1階はトヨタ生協食品売り場で足元商圏を獲得し、2階には「ファッションセンターしまむら」「コムサイズム」「ハッシュアッシュ」などが出店。3階には、「ユニクロ」「くまざわ書店」「スガキヤ」などが出店し、駅前立地かつ駐車場隣接と利便性が高い。

イオン豊田店 GMS/豊田市広路町/店舗面積16,516㎡/駐車場2,000台

ニューミッシーからミセスをターゲットにしたGMS。食品売場を中心にデイリー性の高い店舗を志向するとともに、施設面においては隣接地に広大な駐車スペースを有し、商圏特性である車型社会への対応が図られている。

イオン高橋店 GMS/豊田市東山町/店舗面積14,688㎡/駐車場2,300台

豊田市東部の郊外の住宅地に立地するGMS。また豊田店と同様に隣接地に広大な2棟の駐車スペースを有している。商品構成は住宅地という立地からデイリー性の高い品揃えであり、商圏顧客のライフスタイルに溶け込んでいる。

メグリア本店 生協/豊田市山之手/店舗面積13,310㎡/駐車場2,000台

トヨタ自動車系の企業生協であることから、商圏顧客からのロイヤリティが高い。商品構成はファッション、リビング、食料品ともエコノミーからボリュームのデイリーな商品を中心に展開し、2009年にはファッションゾーンのリニューアルを実施し、「ユニクロ」「3can4on」等を導入した。とりわけ、食料品が強く賑わいがある。イオンと同様、店舗地下・隣接地に広大な駐車場がある。

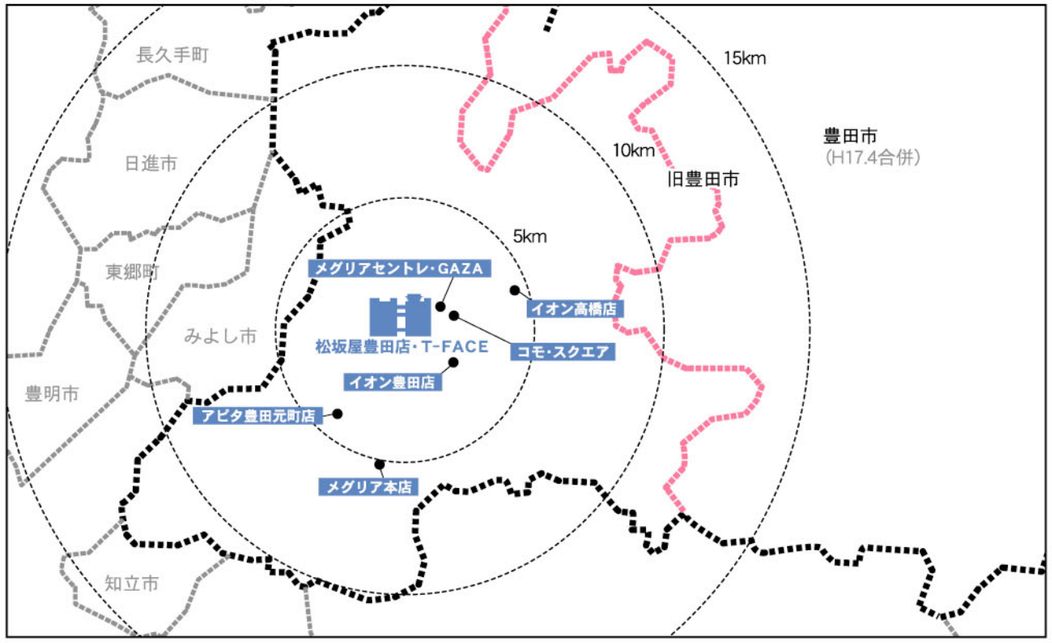
アピタ豊田元町店 GMS/豊田市土橋町/店舗面積9,675㎡/駐車場1,050台

2005年にリニューアルオープンをし、隣接駐車場には「スターバックス」「マクドナルド」のドライブスルーが設置されている。東名豊田インターに近くみよし市からのアクセスも便利。

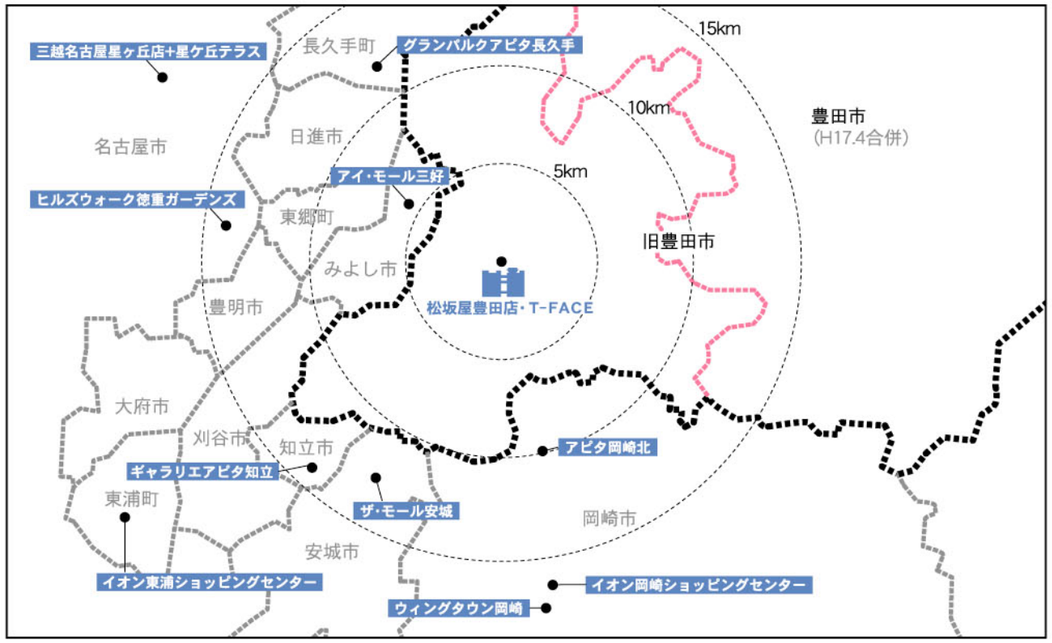
商圏内（半径15㎞）

三越名古屋星ヶ丘店	百貨店/名古屋市千種区/店舗面積21,798㎡/駐車場1,000台
星ヶ丘テラス	SC/名古屋市千種区/店舗面積9,541㎡/駐車場1,474台
イオン岡崎ショッピングセンター（西武・イオン）	SC/岡崎市戸崎町/店舗面積95,000㎡/駐車場4,300台
アピタ岡崎北	SC/岡崎市日名北町/店舗面積19,849㎡/駐車場1,800台
アイ・モール三好	SC/みよし市三好町/店舗面積40,793㎡
ザ・モール安城	SC/安城市大東町/店舗面積22,818㎡/駐車場1,500台
ギャラリエアピタ知立	SC/知立市長篠町/店舗面積27,157㎡/駐車場3,000台
グランパルクアピタ長久手	SC/愛知郡長久手町/店舗面積27,845㎡
イオン東浦ショッピングセンター	SC/東浦町/店舗面積45,512㎡/駐車場4,000台
ウィングタウン岡崎	SC/岡崎市羽根町/店舗面積13,330㎡/駐車場1,350台
ヒルズウォーク徳重ガーデンズ	SC/名古屋市緑区/店舗面積25,554㎡/駐車場1,100台

豊田市周辺大規模店舗位置図



広域大規模店舗位置図（半径約15㎞圏内）



資料

豊田市中心市街地の通行量調査

平成22年度　豊田市中心市街地の歩行者通行量の状況

(1)通行量データの引用について

① 豊田市中心市街地に設置(平成20年4月設置)された歩行者通行量を自動で計測する装置「豊田市歩行者通行量自動計測装置」よりデータを引用。

［計測地点］　18地点　※地点名・場所省略
［計測時間］　毎日5時～24時(19時間)を自動計測および集計。
［装置設置者］　豊田市産業部商業観光課

② 毎年秋に実施する調査スタッフの目視カウントによる「歩行者通行量調査」によるデータを引用。

［調査日］　平成22年11月7日(日)、11日(水)　※天候は共に晴れ
［調査地点］　豊田市中心市街地47地点　※地点名・場所省略。調査地点数は、調査年度によって異なる。
［調査方法］　時間帯ごとに調査スタッフによる目視カウント。
［調査主体］　豊田市産業部商業観光課

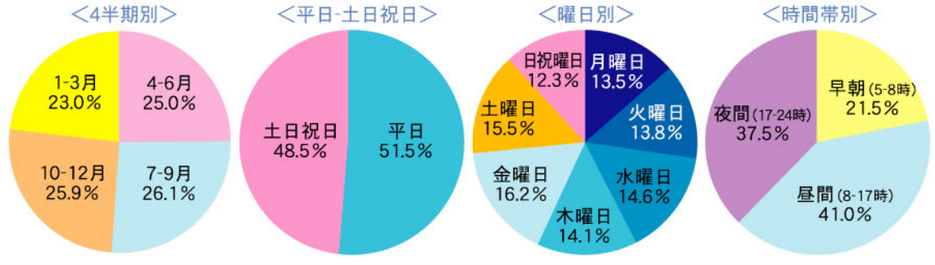
(2)豊田市中心市街地歩行者通行量自動計測装置における年間集計結果

●全18地点合計通行量(5-24時)

(単位:人)

項目		平成22年度	平成21年度	平成20年度	H22/21対比	H22/20対比	H21/20対比
年間計		29,028,384	28,841,686	30,975,025	100.6%	93.7%	93.1%
四月半月平均	4-6月	2,417,105	2,438,792	2,647,610	99.1%	91.3%	92.1%
	7-9月	2,529,842	2,469,950	2,675,600	102.4%	94.6%	92.3%
	10-12月	2,503,898	2,437,917	2,657,551	102.7%	94.2%	91.7%
	1-3月	2,225,283	2,267,237	2,344,247	98.1%	94.9%	96.7%
月平均		2,419,032	2,403,474	2,581,252	100.6%	93.7%	93.1%
曜日別1日平均	月曜日	75,490	75,239	80,830	100.3%	93.4%	93.1%
	火曜日	77,313	77,966	81,921	99.2%	94.4%	95.2%
	水曜日	81,947	83,321	87,522	98.4%	93.6%	95.2%
	木曜日	79,029	79,813	85,393	99.0%	92.5%	93.5%
	金曜日	90,828	92,541	96,788	98.1%	93.8%	95.6%
	土曜日	86,562	81,225	89,818	106.6%	96.4%	90.4%
	日祝曜日	68,575	66,625	74,214	102.9%	92.4%	89.8%
	平日	81,049	81,927	86,665	98.9%	93.5%	94.5%
	土日祝日	76,349	73,005	81,090	104.6%	94.2%	90.0%
1日平均		79,530	79,018	84,863	100.6%	93.7%	93.1%
時間帯1時間平均	早朝(5-8時)	2,456	2,409	2,508	102.0%	97.9%	96.0%
	昼間(8-17時)	4,681	4,714	5,078	99.3%	92.2%	92.8%
	夜間(17-24時)	4,291	4,196	4,520	102.3%	94.9%	92.8%
1時間平均		4,186	4,159	4,466	100.6%	93.7%	93.1%

●全18地点合計1日平均通行量(5-24時)対比グラフ



・平成22年度の通行量は平成21年度の通行量より若干上回るが、平成20年度の通行量と比較すると6.9ポイントのマイナスとなった。
・曜日別通行量では、土曜日と日祝曜日の通行量の回復は伺えるが、平日は軒並み減少傾向となっている。
・時間帯別では、夜間と早朝の通行量は、若干の回復がみられる結果となった。
・4半期毎の比較では、まちなかで大型イベントが多く開催される7月～9月の通行量が多いことが分かり、逆にイベント閑散期の1月～3月は通行量が少ない。
・平日と土日祝日の対比では、平日の通行量の方が土日祝日より通行量が多く、また、曜日別でみると金曜日の通行量が最も多い結果となった。

●地点別1日平均通行量(8-20時)平日と休日の通行量上位5地点

(単位:人)

順位	平日		休日	
	地点名	1日平均通行量	地点名	1日平均通行量
1位	名鉄豊田市駅西口	15,111	名鉄豊田市駅西口	14,487
2位	名鉄豊田市駅東口	10,302	名鉄豊田市駅東口	11,671
3位	新豊田駅東口	8,997	名鉄豊田市駅東口デッキ北(駅⇔GAZA間)	7,916
4位	名鉄豊田市駅下ロッテリア前	7,772	新豊田駅東口	6,448
5位	名鉄豊田市駅東口デッキ北(駅⇔GAZA間)	5,866	名鉄豊田市駅下ロッテリア前	6,131

※名鉄豊田市駅下ロッテリア前の通行量データは、歩行者通行量自動計測装置未設置地点のため、歩行者通行量調査のデータを引用。
※その他の地点の通行量データは、年間の1日平均通行量のデータ。
※通行量の時間帯は、歩行者通行量調査に合わせて8時から20時となっている。

通行量の多い地点は、名鉄豊田市駅や新豊田駅周辺の地点が上位にランクインする結果となった。

●全18地点合計通行量(5-24時)　日別通行量『年間ベスト10』

(単位:人)

順位	日にち	曜日	天気	通行量	与件
1位	7月25日	日曜日	晴れ	228,051	第42回　豊田おいでんまつり　花火大会
2位	7月24日	土曜日	晴れ	221,404	第42回　豊田おいでんまつり　ファイナル
3位	9月27日	月曜日	晴れ	139,988	EXILEコンサート(観客数30,000人ファンクラブ会員限定)
4位	9月25日	土曜日	晴れ	134,284	EXILEコンサート(観客数35,000人)
5位	8月21日	土曜日	晴れ	129,364	EXILEコンサート(観客数35,000人)・まちPミニ
6位	12月4日	土曜日	晴れ	127,828	Jリーグ　グランパスVSサンフレッチェ広島(観客数31,941人)
7位	9月26日	日曜日	曇り	117,125	EXILEコンサート(観客数35,000人)
8位	8月22日	日曜日	晴れ	115,851	EXILEコンサート(観客数35,000人)
9位	10月16日	土曜日	晴れ	113,058	挙母まつり
10位	11月23日	祝火曜日	晴れ	109,490	Jリーグ　グランパスVSFC東京(観客数33,655人)

平成22年度の全18地点合計日別通行量の多い順位は、豊田おいでんまつり開催日や豊田スタジアムでの大型イベント開催日など、まちなかで大きなイベントが開催される日がランクインした。

(3)豊田市中心市街地活性化基本計画目標指標地点における通行量状況

●平日8時から20時　7地点通行量

豊田市中心市街地活性化基本計画　歩行者通行量目標値
(平成19年度から平成24年度迄の達成目標)　**30,500人**(H22達成率84.6%)

(単位:人)

調査地点	平成22年度通行量	平成21年度通行量	平成20年度通行量	平成19年度通行量	伸長率H22/19対比
三菱東京UFJ銀行前西側(三菱東京UFJ銀行前)	1,934	1,989	2,607	1,891	102.3%
コモ・スクエア前(カワシン前)	1,882	2,070	2,793	2,793	67.4%
豊田市駅西口(デッキ②豊田市駅西口)	15,055	14,575	16,974	14,510	103.8%
新豊田駅西駐車場前(新豊田駅西駐車場南)	1,442	1,281	1,774	1,479	97.5%
参合館前☆	2,629	2,501	2,802	2,719	96.7%
藤屋呉服店前☆	637	730	631	408	156.1%
緑陰歩道マンガ喫茶亜熱帯前☆	2,214	1,909	2,170	1,988	111.4%
合計	25,793	25,055	29,157	25,788	100.0%

※歩行者通行量調査日(平日)の8時から20時の自動計測装置データを引用。
※☆印は、歩行者通行量自動計測装置が未設置の地点のため、歩行者通行量調査のデータを引用。
※自動計測装置は、平成20年度4月から設置のため、平成19年度の数値は歩行者通行量調査のデータを引用。

豊田市中心市街地活性化基本計画では、目標指標の1つとして豊田市中心市街地7地点の歩行者通行量合計を設定し、平成19年度から平成24年度迄の達成目標を30,500人としている。同地点の平成22年度の歩行者通行量合計は25,793人(目標達成率の84.6%)であり、平成19年度の数値と比較した伸長率は100.0%である。

資料

豊田市中心市街地の来街者調査

平成20年度 豊田市中心市街地　来街者意識調査

調査の目的　中心市街地の都市機能や各種事業の認知度と利用度および満足度を調査し、来街者の利用実態と都市機能に対する意識を把握する。特に、将来的な都市機能の新規導入の検討資料として、意見、要望等を調査する。

調査主体　財団法人 豊田市都市整備公社

調査日時　平成20年12月12日（金）12時～18時　天気：晴れ
平成20年12月13日（土）12時～18時　天気：晴れ
平成20年12月14日（日）12時～18時　天気：晴れ

調査場所　中心市街地における集客施設、駅、駐車場等11地点
（松坂屋豊田店、T-FACE（B館）、セントレ・GAZA、参合館、コモ・スクエア、名鉄豊田市駅、第1駐車場、愛環新豊田駅、喜多町駐車場、TM若宮パーキング、コモ・スクエア広場）

調査方法　アンケート調査員による直接面接法で、サンプリングは調査員が無作為に行った。

調査票採取数　1,458件（3日間合計）

回答者属性　性　別　男性が約1/3（37.4%）、女性が約 2/3（60.4%）
職　業　勤め人(41.4%)が最も多くパート(7.9%)と合わせると約1/2、次いで主婦が約1/4（25.0%）
家　族　4名家族が最も多く約1/4（23.7%）
年　齢　30代が最も多い(20.6%)が、全体的には各年代均等
居住地　豊田市内が約3/4（76.6%）、うち中心市街地からの来街者は9.1%

調査結果（抜粋）

□来街目的
「買物(50.5%)」が最も多く約1/2、その他の来街目的はほとんど10%以下。

□来街頻度
「ほとんど毎日(22.5%)」が最も多く、週に1回以上の来街は半数以上(56%)。

□来街交通手段
「乗用車」が最も多く半数以上(57.1%)を占め、電車(名鉄＋愛環)は17.3%。

□中心市街地の満足度
満足度が最も高い項目は「快適性」次いで「飲食店・買物」などの商業機能。満足度が低い項目は「遊べる楽しめる施設」のみ圧倒的に多く、次いで「公共交通機関」。

□中心市街地に望まれている街のイメージ
「賑やかな街(27.0%)」が最も多く、「都会的な街」が最も低く唯一10%以下だった。

□中心市街地に望まれている機能
「ショッピング機能」が圧倒的に多く全体の1/2以上(53.0%)の来街者が望んでいる。

□中心市街地に望まれているショッピング機能の内容
「都会的でオシャレな店や商品がそろう(27.2%)」が最も多く、次いで「夜遅くまで買物ができる(25.2%)」「ファッション商品がそろう(23.0%)」。

□中心市街地に望まれているレジャー機能の内容
「シネコン・映画館(54.7%)」のニーズが強い。次いで「温泉・温浴(19.1%)」「飲食テーマパーク(17.4%)」。

平成22年度 豊田市中心市街地　来街者消費購買等　動向調査

調査の目的　中心市街地来街者の消費購買の実態を把握し、商業振興及び市街地活性化の参考資料とすることを目的とする。特に、平成20年度に実施した前回調査である「豊田市中心市街地来街者意識調査」以降の経年変化にも留意して実施する。

調査主体　財団法人 豊田市都市整備公社

調査日時　平成22年12月17日（金）12時～18時　天気：晴れ
平成22年12月18日（土）12時～18時　天気：晴れ
平成22年12月19日（日）12時～18時　天気：晴れ

調査場所　中心市街地における集客施設、駅、駐車場等11地点
（松坂屋豊田店、T-FACE（B館）、セントレ・GAZA、参合館、コモ・スクエア、名鉄豊田市駅、第1駐車場、愛環新豊田駅、喜多町駐車場、TM若宮パーキング、コモ・スクエア広場）

調査方法　アンケート調査員による直接面接法で、サンプリングは調査員が無作為に行った。

調査票採取数　1,666件（3日間合計）

回答者属性　性　別　男性が約1/3（31.4%）、女性が約2/3(67.4%)
職　業　勤め人(33.0%)が最も多く約1/3、専業主婦＋有職主婦とほぼ同じ割合（31.1%）
家　族　4名家族が最も多く約1/4(26.7%)
年　齢　30代が最も多い(23.7%)が、全体的には各年代均等
居住地　豊田市内が約８割(79.8%)、うち中心市街地からの来街者は9.4%

調査結果（抜粋）

□来街目的
「買物(55.4%)」が過半数を占め、その他の来街目的はほとんど10%以下。前回調査(H.20)よりも買物は4.9pt増加した。

□来街頻度
「ほとんど毎日(21.4%)」が最も多く、週に1回以上の来街は過半数(56.8%)を占めた。前回調査(H.20)から大きな傾向変動はみられなかった。

□来街交通手段
「乗用車」が最も多く過半数(56.7%)を占め、電車(名鉄＋愛環)は17.5%。前回調査(H.20) から大きな傾向変動はみられなかった。

□中心市街地でよくお買い物・ご利用するお店
「松坂屋・メグリアセントレ・T-FACE・GAZA」が属性に関わらず上位を占めた。性別では松坂屋・メグリアセントレ・T-FACEは女性の支持が強く、年齢別では松坂屋は30代以上、T-FACEは20代、メグリアセントレは10代と40代以上の支持が強い。

□中心市街地における品目別のお買い物・ご利用について（よく買う・買わない）
購買傾向は「外食」「ファッション衣料品」「贈答品おみやげ」の順に強く、非購買傾向（買わない・わからない）は「家具家事用品」「サービス」などに強い傾向がみられた。

□中心市街地のお店が便利だと思う・気に入っている点
「駐車場が確保されている」「自宅から近い」「交通の便がよい」など、交通インフラやアクセスに対する評価が高い。店舗に対する評価は「顔なじみの店がある」が高く、商品に対する評価は「商品が豊富にある」が高い。

□中心市街地のお店が不足していると思う・望む点
「夜遅くまで営業」「商品が豊富にある」など、営業時間や品揃えに対する要望が強い。「交通の便がよい」「駐車場が確保されている」は、便利だと思う点・気に入っている点で評価の高かったものの、まだ不足していると思われているようだ。

全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議

全国の中心市街地活性化協議会、まちづくり会社との情報交流・ネットワークづくりを目的に、豊田まちづくり(株)は、全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議に参加している。

設立目的

まちづくり三法の改正により、中心市街地のまちづくりを進める重要な主体として位置付けられた、まちづくり会社や中心市街地整備推進機構等が情報交流を行い、民間主体による中心市街地の再生とコンパクトなまちづくりを促進することを目的とする。

連絡会議概要

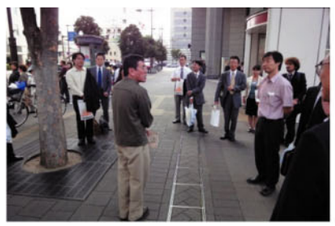
●設　　立:平成19年6月28日
●会　　員:57社(平成22年12月1日現在)
　中心市街地活性化基本計画の認定を受けた又は受けようとしている市町村のまちづくり会社及び中心市街地整備推進機構
●役員会社:会長:豊田まちづくり(株)　副会長:(株)まちづくり松山
　監事:盛岡まちづくり(株)、(財)宮崎市花のまちづくり公社
●賛助会員:4社(平成23年4月1日現在)　　会の趣旨に賛同する者
●参与会員:4社(平成23年4月1日現在)　　事務局業務の補佐　※事務局は会長会社
　(独)都市再生機構、(財)民間都市開発推進機構、(社)全国市街地再開発協会、(財)区画整理促進機構

活動内容

●中心市街地活性化に係る情報共有・ノウハウの蓄積
・総会(年1回、東京にて開催)
・勉強会の開催(年2回、先進地にて開催、まちづくり会社が行っている事業手法や工夫等の紹介)

【勉強会開催実績】

◇第1回勉強会　H19.10.22.23　富山市　富山市及び各市のまちづくり事例発表
◇第2回勉強会　H20.2.14.15　東京　各市まちづくり事例発表及びグループ討議
◇第3回勉強会　H20.10.2.3　岐阜市　岐阜市まちづくり事例発表及びグループ討議
◇第4回勉強会　H21.2.19.20　神戸市　長田地区まちづくり事例発表及び分科会
◇第5回勉強会　H21.10.1.2　高松市　高松市まちづくり事例発表及び分科会
◇第6回勉強会　H22.2.18.19　豊田市　豊田市まちづくり事例発表及び情報提供
◇第7回勉強会　H22.10.6.7　松山市　松山市まちづくり事例発表及び情報提供
◇第8回勉強会　H23.2.17.18　宮崎市　宮崎市まちづくり事例発表及び情報提供


●HPの設置・情報発信
・会員、事務局の連絡や提案、情報交換など
●相談室の設置
・まちづくり手法等の相談　((独)都市再生機構:全国まちづくり室)
・出融資に係る相談　((財)民間都市開発推進機構:中心市街地活性化支援室)
・再開発・街なか居住再生ファンド等の相談　((社)全国市街地再開発協会:企画部内)
・市街地整備に関する相談　((財)区画整理促進機構:まちなか支援センター内)

まちづくり推進団体

(順不同)

豊田市中心市街地活性化協議会

豊田商工会議所
豊田まちづくり株式会社
TCCM(豊田シティセンターマネジメント)

フリーパーキング事業

愛知県道路公社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社丸太不動産
豊田市
財団法人豊田市都市整備公社
豊田市都心地区駐車場高度利用協議会

豊田市中心市街地まちなか宣伝会議

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T−FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
カシマゴビルディング株式会社
株式会社豊田スタジアム
トヨタ自動車株式会社
名鉄トヨタホテル
ひまわりネットワーク株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市美術館
豊田市コンサートホール・能楽堂
豊田商工会議所
豊田市近代の産業とくらし発見館
豊田市駅前通り南開発株式会社
株式会社ホテル豊田キャッスル
株式会社ハクヨプロデュースシステム
トヨタすまいるライフ株式会社
財団法人豊田市体育協会
豊田産業文化センター
公益財団法人 豊田市国際交流協会
あいち豊田農業協同組合
豊田市民文化会館
エフエムとよた株式会社
豊田市(オブザーバー)

豊田市中心市街地 大型店の連携・共同事業

株式会社大丸松坂屋百貨店 松坂屋 豊田店
T−FACE会
トヨタ生活協同組合
豊田市駅東開発株式会社
協同組合豊田市商店街連盟
豊田市
豊田商工会議所
名古屋鉄道株式会社

自治区・地域

崇化館地区　一区
崇化館地区　二区西部
崇化館地区　二区東部
崇化館地区　三区
崇化館地区　東区
崇化館地区　西区
崇化館地区　中区
朝日丘地区　小坂
桜町ほうだら会
竹の子村まちづくり協議会
竹生線沿線4自治区まちづくり協議会

商店街・商工会

協同組合豊田市商店街連盟
とよた下町おかみさん会
ひまわり通り商店街振興組合
一番街商店街振興組合
桜町本通り商店街振興組合
豊田市駅前商業協同組合
西町商店街協同組合
喜多町昭和通り発展会
新豊田商店街振興組合
足助中央商店街協同組合
竹生発展会
駅東発展会
昭和町発展会
元城五番街発展会
小坂発展会
足助商工会
稲武商工会

その他各団体・教育機関

愛知県商店街振興組合連合会
中心市街地花飾り実行委員会
豊田おいでんまつり実行委員会
イルミネーションストーリー実行委員会
一店逸品運動実行委員会
ジョイカルウエイブ実行委員会
愛知学泉大学
豊田文化フォーラム
豊田てらこや
洞泉寺楽市楽座実行委員会
全国中心市街地活性化まちづくり連絡会議